

Panasonic®



取扱説明書(詳細版)

IP音声会議ホン

品番 **KX-NT700N**



保証書別添付

技術基準適合認証品



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(10～12ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

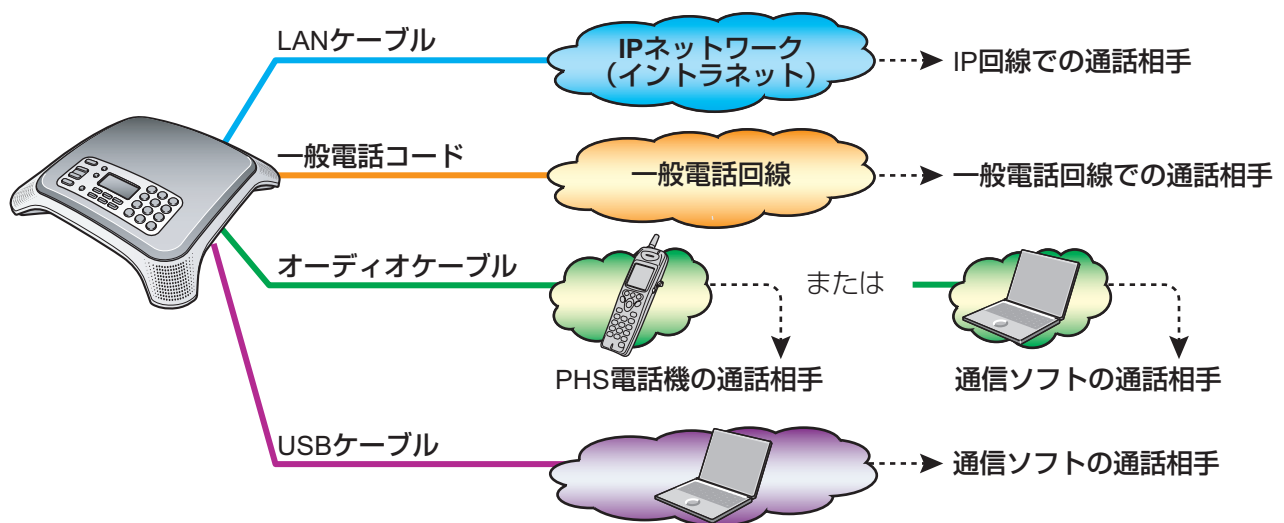
はじめに

本機では、こんなこともできます。

ここでは、本機の特長を説明します。

多数の接続方法による通話

本機は、IPネットワーク（イントラネット）への接続に加えて、一般電話回線に接続して使用することができます。また、デジタルコードレス電話機（本書ではPHS電話機と表記しています）やパソコンに接続することもできます。



IPネットワーク（イントラネット）への接続

IPネットワークに接続することによって、IPネットワーク上にあるKX-NT700Nとの通話ができます。IEEE802.3af準拠のPoE（Power over Ethernet）スイッチングハブを使用して電源の供給を受けることもできます。

また、SIPサーバーへの接続ができます。本機をSIPサーバーに接続するSIP端末として使用した場合の操作や機能についてはSIPサーバーの取扱説明書をご覧ください。

一般電話回線への接続

一般電話回線への接続ができます。

PHS電話機への接続

別売のデジタルコードレス電話機接続ケーブルを使用して、パナソニック製構内交換機（IP-Digaport JII/XII）またはデジタルビジネスホン（ラ・ルリエ）用のデジタルコードレス電話機（VB-C911A）を接続し、そのPHS電話機での通話で本機のマイクとスピーカーを使用することができます。

パソコンへの接続

別売のパソコン接続ケーブルまたは付属のUSBケーブルを使用して、市販のパソコンを接続し、パソコン上での通話（IP電話ソフトやWeb会議サービスなど）で本機のマイクとスピーカーを使用することができます。

高品質の音声をサポート

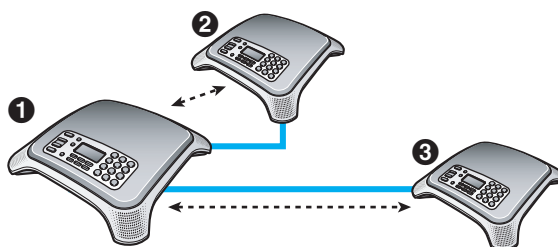
下記の機能により、高品質での通話ができます。

- 音声コーデックG.722に準拠
- 全二重双方向通話
- 話速変換（42 ページ参照）
- マイクノイズカット（43 ページ参照）
- 外部マイク対応（17 ページおよび33 ページ参照）

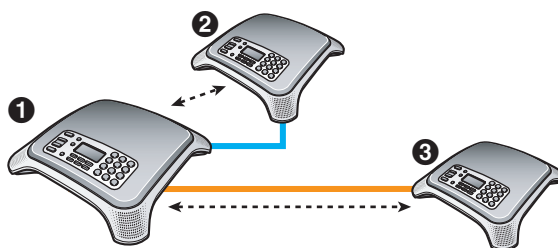
3者通話機能

2者通話中に、別の相手に電話をかけたり、別の相手からの着信を受けたりすると、同時に3者での通話ができます。（39 ページ参照）3者通話が可能な通話の組み合わせは以下のとおりです。

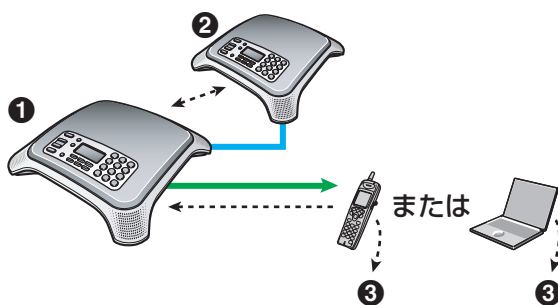
IP回線での通話（2通話；「Peer to Peer」モード時のみ）



IP回線での通話（1通話）＋ 一般電話回線での通話（1通話）



IP回線での通話（1通話）＋ PHS電話機またはパソコンを本機に接続しての通話（1通話）



SDメモリーカードによる録音

SDメモリーカードを使用して通話を録音できます。また、通話中以外の録音（メモ録音）もできます。（47 ページ参照）

IP会議ホンマネージャー

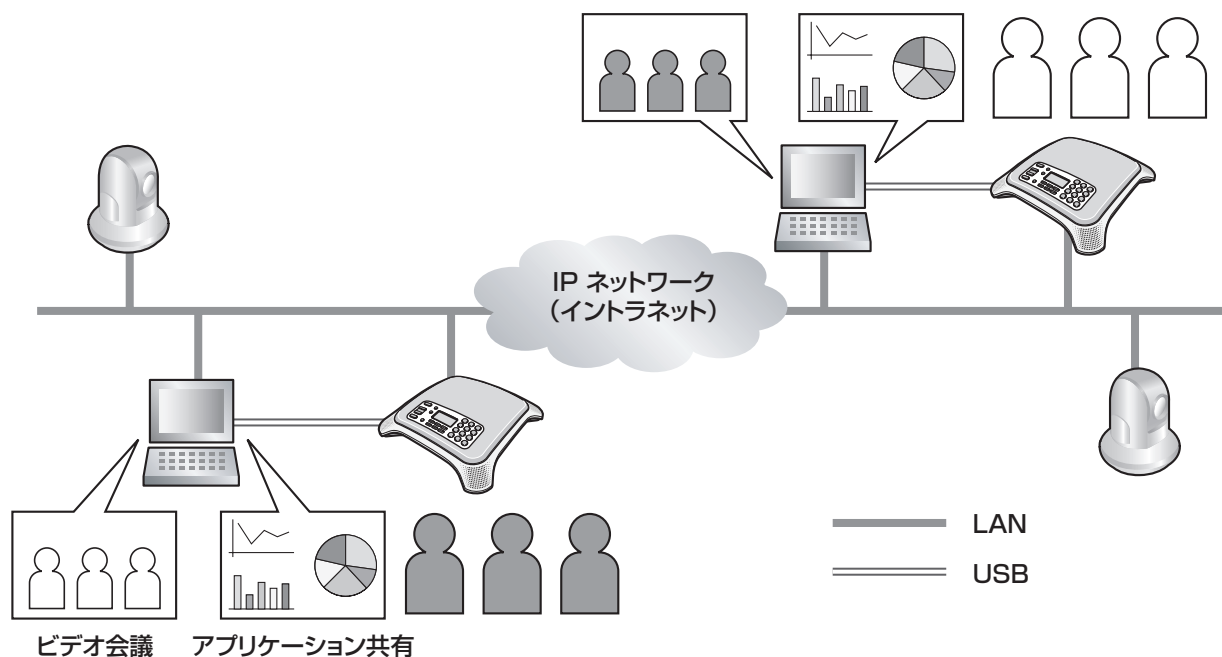
USBケーブルで本機とパソコンを接続し、付属のIP会議ホンマネージャーをインストールすると、下記のことことができます。

- パソコンによる本機の操作
- 本機の機能設定

詳細については、69 ページを参照してください。

ビデオ会議／アプリケーションの共有

別売のIP会議ホンマネージャー（KX-NCS7101N）を使用して、通話相手とビデオ会議やアプリケーションの共有をすることができます。



その他

取扱説明書の構成について

本機の手取扱説明書は、下記の2冊で構成されています。

取扱説明書（詳細版） [本書；PDF]	接続や操作の仕方および付属のIP会議ホンマネージャーについて説明しています。
かんたんガイド (取扱説明書（簡易版）)	初期設定や基本的な使い方について説明しています。

構内交換機やその他の機器への接続について

- 構内交換機やその他の機器への接続や発着信などの操作、その他の機能については、お使いの機器の手取扱説明書をご覧ください。
- 構内交換機に接続する場合は、本機と他の電話機を並列接続しないでください。

パソコンの画面について

- 本書では、パソコンの起動操作については記述を省略しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 本書では、OSとして Microsoft Windows XP の画面例を表示しています。

商標および登録商標について

- SD ロゴは商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、およびWindows Media® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP operating systemです。
- QuickTime®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel®、Pentium®およびCeleron®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

MD5の著作権

本製品で使用されているソフトウェアは、RFC1321(The MD5 Message-Digest Algorithm)に記載されているRSA Data Security, Inc. のソースコードを使用しています。

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.
License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

もくじ

安全上のご注意	10
ご使用の前に	13
使用上のお願い	13
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	14
お客様の大切な情報を保護するために	14
付属品／添付品について	15
別売品について	16
各部のなまえとはたらき	17
ディスプレイの見かた	21
ソフトボタンアイコンの一覧	22
準備	24
本機を接続する	24
ADSL／ISDNに接続する	26
日付・時刻を設定する	27
動作モードを設定する	27
一般電話回線を設定する	28
IPネットワークを設定する	29
SIPを設定する	30
SDメモリーカードを使う	31
SDメモリーカードをフォーマットする	32
マイクについて	33
IP会議ホンマネージャーをインストール／アンインストールする	34
IP会議ホンマネージャーをインストールする	34
USBドライバーをインストールする	35
IP会議ホンマネージャーをアンインストールする	35
電話をかける／受ける	36
回線を設定する	36
電話をかける	36
3者通話をする	39
電話を受ける	40
通話中の便利な機能	42
電話帳を使う	44
電話帳に登録する	44
修正する	45
消去する	45
文字列一覧表（文字リスト）	46
録音する	47


録音する前に	47
通話を録音する	47
メモを録音する	47
再生する	47
消去する	48
PHS電話機／パソコンを使用して通話する	49
PHS電話機を使用して通話する	49
パソコンを使用して通話する	50
USBケーブルで接続する	50
パソコン接続ケーブルで接続する	51
本機を設定する／設定を確認する	52
機能の設定／確認について	52
設定変更のしかた	52
再起動する	52
設定できる機能	53
設定項目について	56
IPアドレス カクニン	56
ドウサ モード（動作モード設定）	56
キホン セッテイ（基本設定）	56
カイセン センタク（回線選択）	58
デンワ セッテイ（電話設定）	58
IPネットワーク セッテイ（IPネットワーク設定）	60
プロトコル セッテイ（プロトコル設定）	61
VoIP セッテイ（VoIP設定）	64
QoS セッテイ（QoS設定）	65
システム ジョウタイ カクニン（システム状態確認）	66
システム オプション（初期化）	66
データを消去する	68
データを消去する	68
発信履歴を消去する	68
電話帳の項目を全件消去する	68
システムデータを初期化する	68
すべてのデータを初期化する	68
パソコンで本機を操作する	69
IP会議ホンマネージャーを使う	69
接続する	69
IP会議ホンマネージャーを起動する	69
IP会議ホンマネージャーを使用して操作する	70
本機を設定する	70


本機を再起動する	71
IP会議ホンマネージャーを終了する	71
困ったとき	72
困ったとき	72
基本動作について	72
発着信について	73
音質について	77
SDメモリーカードについて	78
電話帳について	78
機能の設定について	80
ディスプレイのメッセージについて	80
その他	82
お手入れ	82
仕様	83
仕様	83
保証とアフターサービス	85
保証とアフターサービス (よくお読みください)	85
索引.....	86

安全上のご注意 必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告


分解・修理・改造は、しない

 火災・感電の原因になります。

禁止

●修理は販売店へご相談ください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプター※1を抜く※2

 そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

電源プラグ
を抜く

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

※1: ACアダプター給電の場合のみ

※2: PoE給電の場合は、LANケーブルを本機から抜いてください。

警告

ACアダプター・コード※¹を破損する ようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理
に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、
束ねる など)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災
の原因になります。

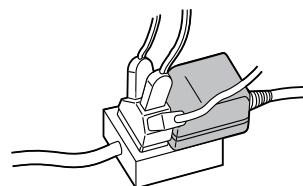
禁止

- 修理は販売店へご相談ください。

電源コンセントや配線器具の定格を 超える使い方やAC 100 V 以外で の使用はしない



禁止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の
原因になります。

機器内部に異物を入れたり、水をかけ たり、ぬらしたりしない



火災・感電の原因になります。

禁止

- 異物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐにACアダ
プター※¹を抜いて※²販売店へご相談ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の 届くところに置かない

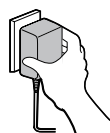


誤って、飲み込む恐れがあります。

禁止

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご
相談ください。

ACアダプター※¹は根元まで確実に差 し込む



差し込みが不完全なまま使用すると、感電や発熱によ
る火災の原因になります。

- 傷んだACアダプターやゆるんだコンセントは、使用
しないでください。

雷が鳴ったら本機やACアダプター※¹、 電話機コードに触れない



感電の原因になります。

接触禁止

※1: ACアダプター給電の場合のみ

※2: PoE給電の場合は、LANケーブルを本機から抜いてください。

警告

ぬれた手で、ACアダプター※¹の抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電話機コードのプラグに、洗剤などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

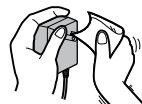


火災・感電の原因になります。

禁止

- 電話機コードがぬれたときは、すぐに壁側の電話回線ジャックから抜き、使用しないでください。

ACアダプターのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

注意

湿気や湯気・ほこりの多い場所では、使用しない



火災・感電の原因になることがあります。

禁止

水平でない場所や振動の激しい場所では、使用しない



落下により破損・けがの原因になることがあります。

禁止

使用上のお願い

本機をご使用になる際は、以下のことに注意してください。

1. **機器に、強い衝撃や振動を与えないでください。**
落としたりぶつかけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。
2. **冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください。**
故障や動作不良の原因になります。
3. **ラジオ、テレビ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから約2 m以上離してお使いください。**
機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因になります。
4. **直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。**
機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因になります。
5. **硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガス等の発生する場所に置かないでください。**
故障や機器の寿命が短くなる原因になります。
6. **殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください。**
変質したり、塗料がはげる原因になります。
7. **キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気カード類をスピーカーやマイクに近づけないでください。**
カード類が使えなくなることがあります。
8. **電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波マシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください。**
雑音の発生や故障の原因になります。
9. **相手に無断で通話録音機能を使い、通話録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。**
相手にお断りのうえ、通話録音してください。

10. **通話中に録音された内容を、第三者が無断で聞くことは法律上問題がありますのでご注意ください。**

11. 防水仕様ではありません。

本機およびACアダプターは防水仕様にはなっていません。湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。

使用環境について

- 本機は、反響音の少ない、静かな部屋で使用してください。
- 本機を壁の近くなどに置かないようにしてください。
- 通話開始直後は、相手と交互にお話ください。本機が、通話環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくするように自動的に調整します。
(推奨使用環境：環境騒音50 dBA以下)

移動について

コード類を接続した状態で移動しないでください。コード類の破損の原因になります。

その他

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
- 停電すると、本機は使えません。

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

お客様の大切な情報を保護するために

お客様固有の情報の流出による、不測の損害を回避するため、下記事項をお守りください。

本機の不正使用による損害に対し、弊社は責任を負いかねます。

情報の損失を防ぐために

- 録音した音声データは、パソコンに定期的にバックアップするようにしてください。
- 登録した電話帳の内容は、メモなどに控えるようにしてください。

情報の流出を防ぐために

- 重要な会議内容を録音した装置（SDメモリーカード）を放置しないようにしてください。
- 不特定多数の人が出入りするような場所に、本機を放置しないようにしてください。
- 重要な情報を保存する場合は、本機を適切な場所で管理するようにしてください。
- 重要な個人情報、本機に登録しないようにしてください。
- 下記のような場合は、電話帳など必要な利用者情報はメモなどに控え、本機をお買い上げ時の状態に初期化してください。（68 ページ参照）
また、SDメモリーカードは本機から取り出してください。
 - 本機を譲渡・廃棄する場合
 - 本機を貸し出す場合
 - 本機を修理に出す場合
- 本機を修理に出す場合は、お買い上げの販売店へ依頼するようにしてください。

本製品は、お客様固有のデータ（電話帳や発信履歴など）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください。

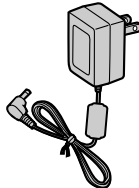
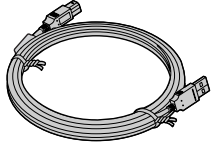
ネットワーク上での情報の漏洩を防ぐために

- 重要な会議に使用する場合は、盗聴対策のとられているネットワーク上で本機を使用してください。
- 本機は、適切に管理されたLAN上で使用し、不正アクセスが行われないようにしてください。
- 本機と接続するパソコンのセキュリティは、常に最新の状態にしてください。

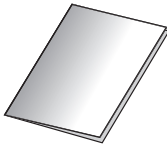
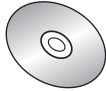
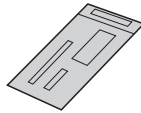
付属品／添付品について

もし、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

ACアダプター（長さ：約1.8 m） （数量：1）	USBケーブル（長さ：約1.8 m） （数量：1）
	

添付品

かんたんガイド （取扱説明書（簡易版）） （数量：1）	CD-ROM （数量：1） ^{*1}	保証書 （数量：1）
		

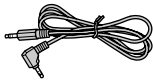

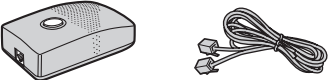
*1 以下の取扱説明書とソフトウェアが入っています。


- 取扱説明書（詳細版）
- かんたんガイド（取扱説明書（簡易版））
- IP会議ホンマネージャーのセットアップソフトウェア
- 別売のIP会議ホンマネージャー（KX-NCS7101N）の操作説明書
- 別売のIP会議ホンマネージャー（KX-NCS7101N）体験版のセットアップソフトウェア

別売品について

別売品として以下の製品を用意しています。必要な場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

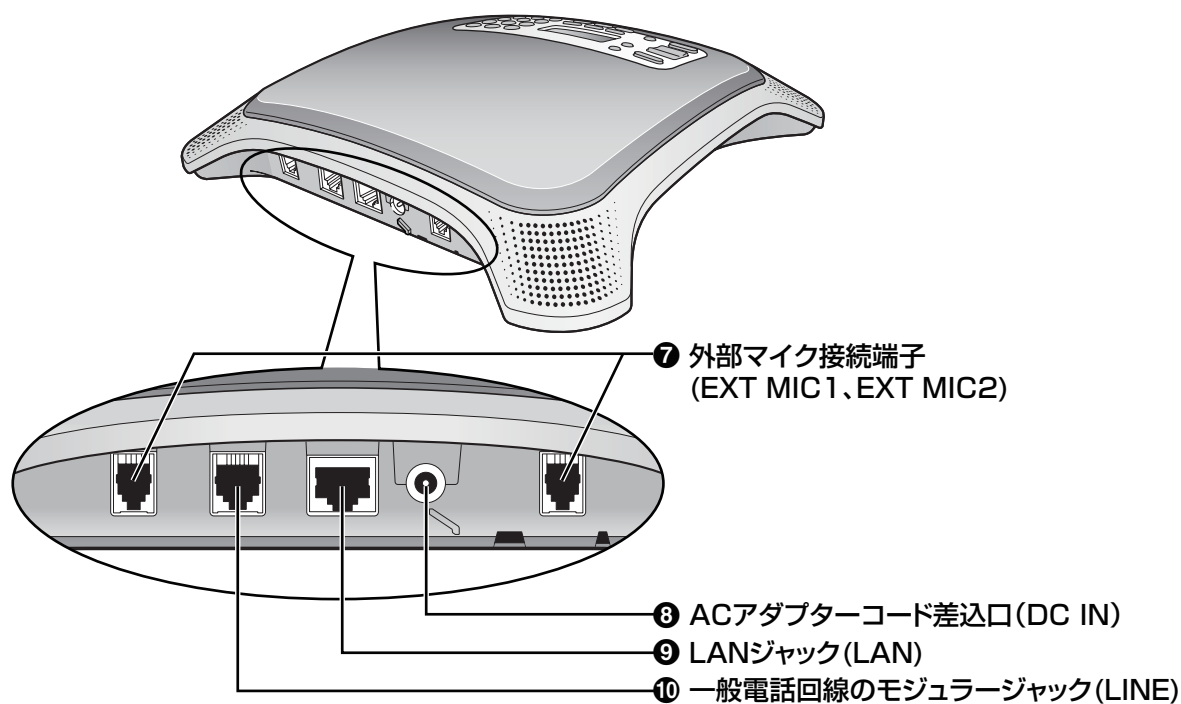
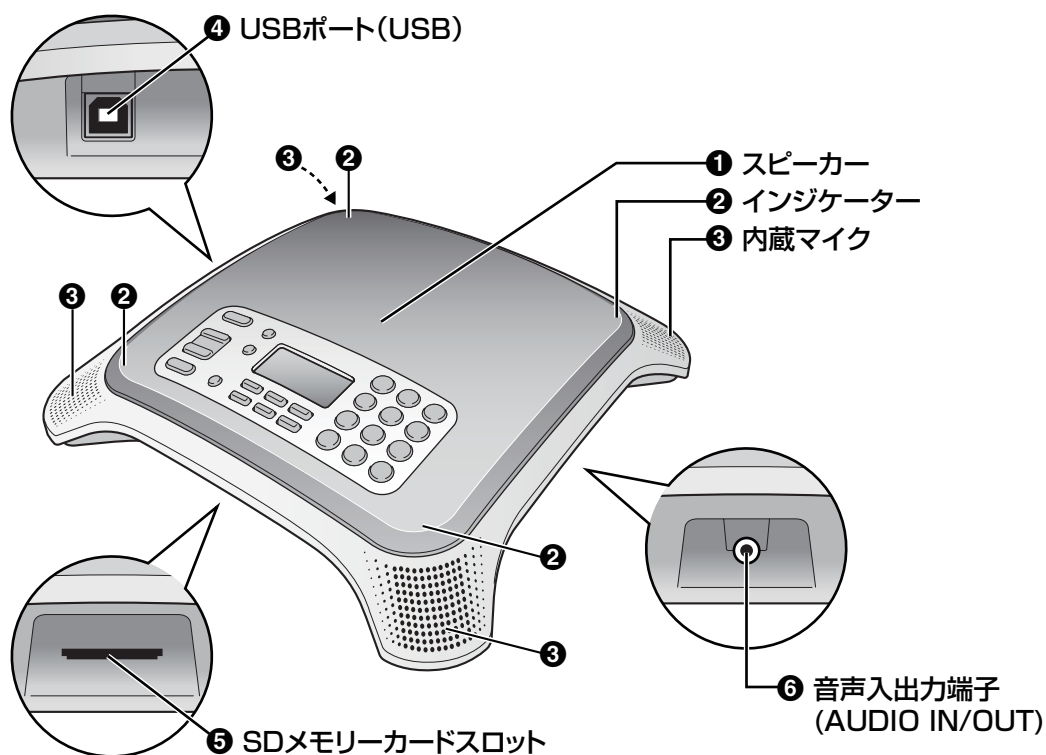
別売品

デジタルコードレス電話機接続 ケーブル (長さ：約1 m)	パソコン接続ケーブル (長さ：約1.8 m)	外部マイク／接続ケーブル (長さ：約3 m)
		
KX-TCA112JP	KX-TCA113JP	KX-TCA174JP

IP会議ホンマネージャー

KX-NCS7101N

各部のなまえとはたらき

全体図



① スピーカー

② インジケーター（4か所）

本機の状態を下記のように表示します。

色／状態	説明
消灯	待機中です。
青色／速い点滅 (100 ms点灯、150 ms消灯)	着信中です。
青色／点灯	通話中です。
赤色／点灯	ミュート中です。もしくは、エラーが発生しています。

③ 内蔵マイク（4か所） (33 ページ参照)

④ USBポート (USB)

付属のUSBケーブルでパソコンに接続すると、付属のIP会議ホンマネージャーで本機を操作できます。(69 ページ参照) また、パソコン上での通話 (IP電話ソフトやWeb会議サービスなど) で本機のマイクとスピーカーを使用することができます。(50 ページ参照)

⑤ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入すると、通話やメモの録音ができます。(31 ページ参照)

⑥ 音声入出力端子 (AUDIO IN/OUT)

オーディオケーブルでPHS電話機やパソコンを接続して通話をする場合、本機のマイクとスピーカーを使用することができます。(49 ページ参照)

⑦ 外部マイク接続端子 1、2 (EXT MIC1、EXT MIC2)

外部マイクを接続します。(33 ページ参照)

⑧ ACアダプターコード差込口 (DC IN)

ACアダプターのコードを差し込みます。(24 ページ参照)

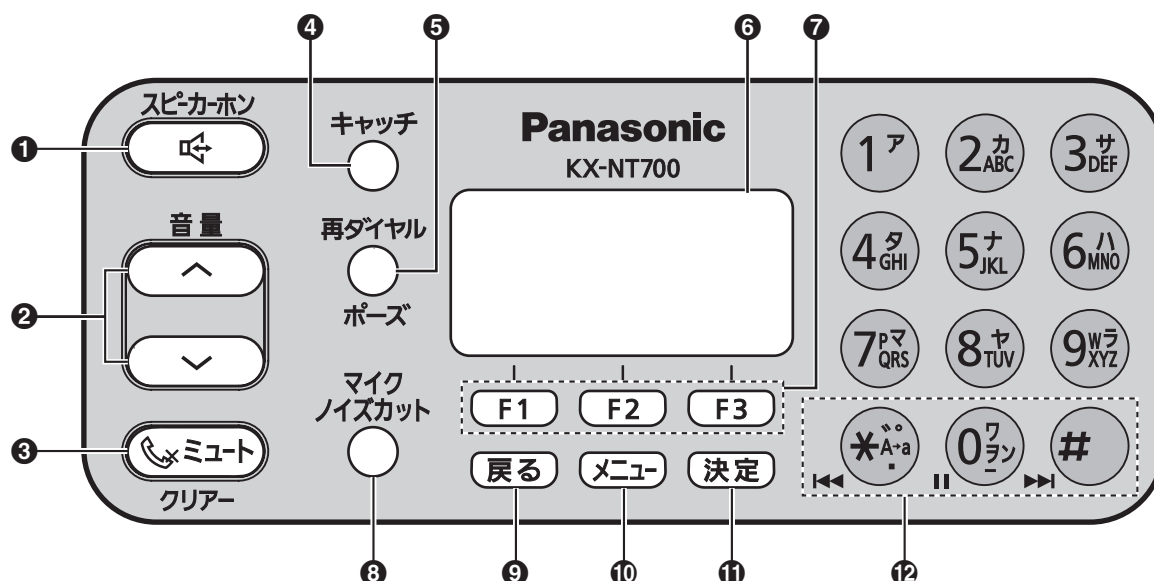
⑨ LANジャック (LAN)

LANケーブルでIPネットワークに接続することができます。また、PoE対応スイッチングハブを使用してLANケーブルから電源の供給を受けることができます。(24 ページ参照)

⑩ 一般電話回線のモジュラージャック (LINE)

一般電話回線に接続します。(24 ページ参照)

コントロールパネル



- ① スピーカーホンボタン**
電話をかけたり、受けたりするときに使用します。また、通話を終わるときにも使用します。(36 ページ参照)
- ② ナビゲータ／音量ボタン ([↑] / [↓])**
電話帳の検索や機能の設定など、項目を選択するときに使用します。(38 ページおよび52 ページ参照) また、スピーカー音量／着信音量を調節するときにも使用します。(37 ページおよび40 ページ参照)
- ③ クリアー／ミュートボタン**
文字や数字を消去するとき使用します。また、通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート) ときにも使用します。(42 ページ参照)
- ④ キャッチボタン**
キャッチホンのサービスを利用している場合、通話中にかかってきた電話を受けるときに使用します。(42 ページ参照)
- ⑤ 再ダイヤル／ポーズボタン**
以前にかけた相手に再度かける (再ダイヤル) ときに使用します。(37 ページ参照) また、ダイヤル中にポーズを入力するときにも使用します。(38 ページ参照)
- ⑥ ディスプレイ**
本機の状態が表示されます。(21 ページ参照)
- ⑦ ソフトボタン ([F1]、[F2]、[F3])**
ボタンのすぐ上のディスプレイに表示されているアイコンを選択することができます。(22 ページ参照)
- ⑧ マイクノイズカットボタン**
本機側の周囲のノイズを減少させるときに使用します。相手は音声聞き取りやすくなります。(43 ページ参照)
- ⑨ 戻るボタン**
一つ前の画面に戻るときに使用します。

⑩ **メニューボタン**

各種機能を設定するときに使用します。また、待機状態に戻るときにも使用します。

⑪ **決定ボタン**

入力した内容や設定した内容を確定させるときに使用します。

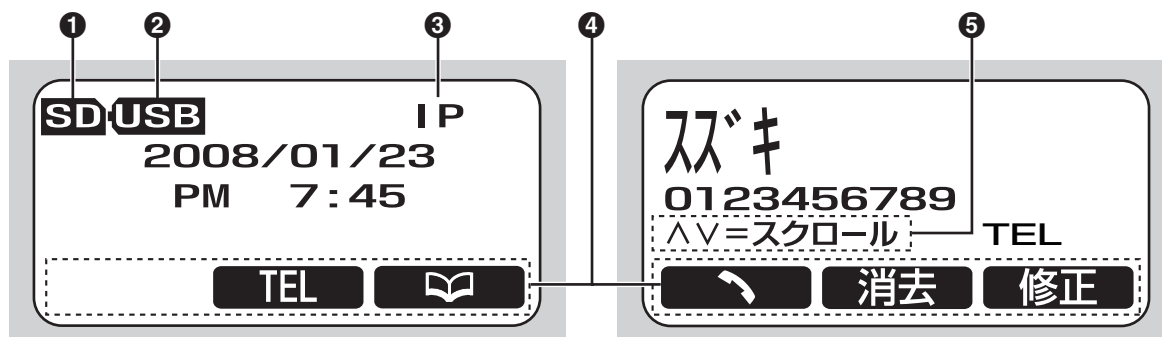
⑫ **SDメモリーカードに録音した内容を再生しているときに使用します。(48 ページ参照)**

ディスプレイの見かた

本機では、各種メッセージやアイコンのディスプレイ表示にしたがって操作や設定を行います。

例：待機画面

例：電話帳画面



- ① SDアイコン
SDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。(31 ページ参照)
- ② USBアイコン
USBケーブルが接続されているときに表示されます。(50 ページおよび69 ページ参照)
- ③ 発信回線表示 (IP、TEL、PHS、PC、USB-AUDIO)
電話をかけるときに使用される回線が表示されます。
- ④ ソフトボタンアイコン
使用できるソフトボタンのアイコンが表示されます。アイコンは、ご使用の状態によって異なります。
- ⑤ スクロール表示
電話帳や機能の設定など、項目のスクロールが可能なときに表示されます。
【△】を押すと、前の項目が表示されます。
【▽】を押すと、次の項目が表示されます。

ソフトボタンについて


ソフトボタン（【F1】、【F2】、【F3】）を押すと、ボタンのすぐ上のディスプレイに表示されているアイコンを選択することができます。

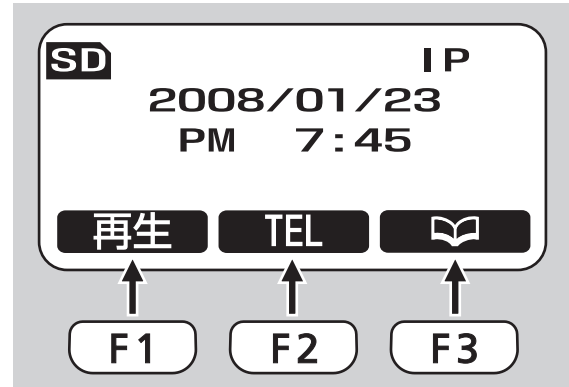
本書では、ソフトボタン（【F1】、【F2】、【F3】）を、該当するソフトボタンアイコンで表記しています。

例：右記のイラストの場合












「再生」を押す」は【F1】を、

「TEL」を押す」は【F2】を、

「」を押す」は【F3】を押すことを示しています。



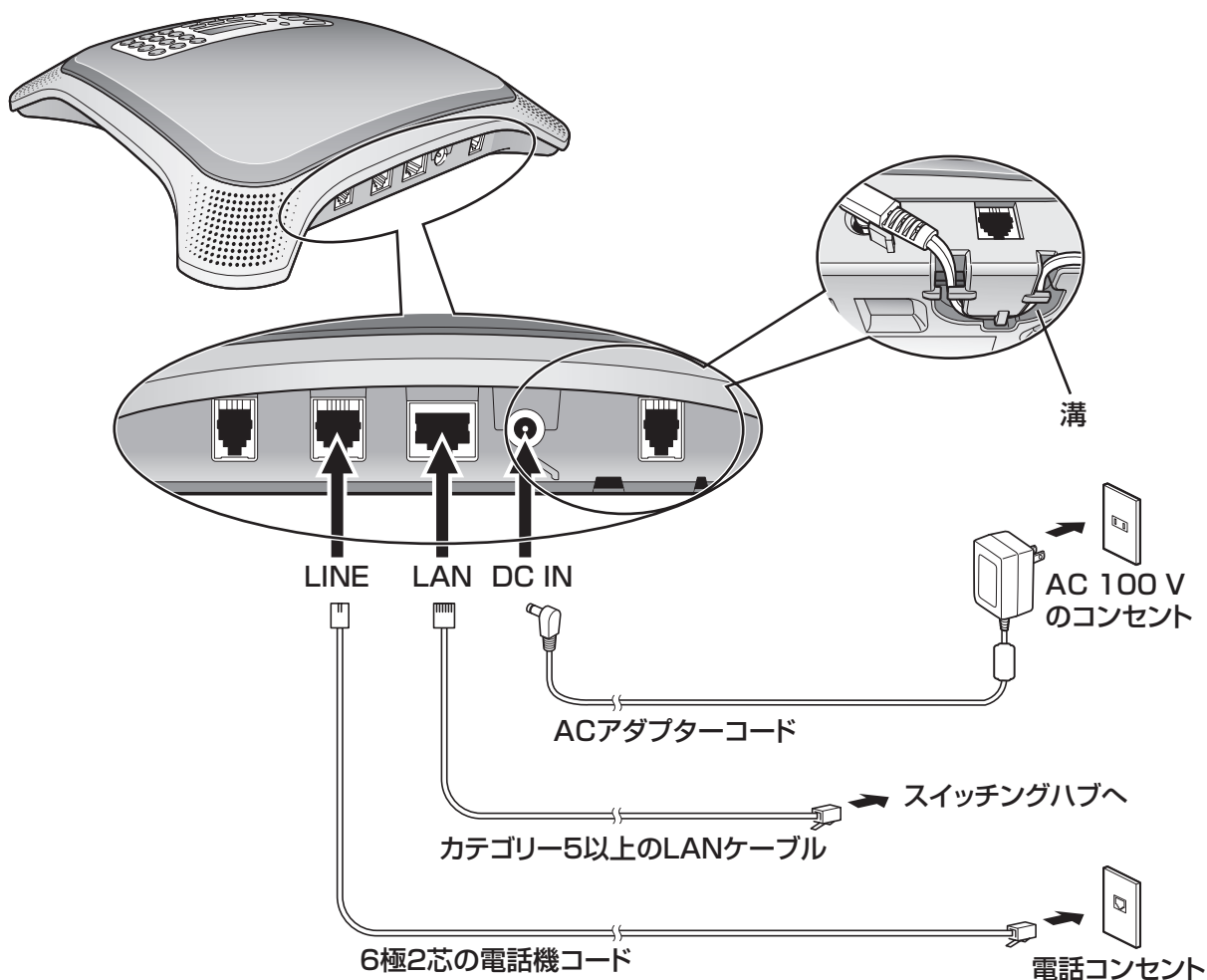
ソフトボタンアイコンの一覧

区分け	アイコン	説明
使用する回線		一般電話回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + TEL」に設定されている場合のみ表示されます。(28 ページ参照)
		IP回線を使用するときに選択します。
		PHS回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + PHS」に設定されている場合のみ表示されます。(49 ページ参照)
		PC回線を使用するときに選択します。 「カイセン センタク」が「IP + PC」に設定されている場合のみ表示されます。(51 ページ参照)
		「カイセン センタク」設定を変更します。(36 ページ参照)
通話		かかってきた電話に応答します。(40 ページ参照)
		かかってきた電話を拒否します。(40 ページ参照)
		電話をかけます。(36 ページ参照)
		現在の通話を終了します。
		通話中に3者通話を開始します。(39 ページおよび41 ページ参照)
		通話中に相手の会話速度を遅くします。(42 ページ参照)

区分け	アイコン	説明
電話帳		電話帳を開きます。(44 ページ参照)
		電話帳に新しい項目を追加します。(44 ページ参照)
		電話帳の項目を修正します。(45 ページ参照)
		カナ入力モード／英字入力モード／数字入力モードに切り替えます。(44 ページ参照)
		カーソルを左に移動します。
		カーソルを右に移動します。
		電話帳の項目を消去します。(45 ページ参照)
録音・再生		SDメモリーカードへの録音を開始します。(47 ページ参照)
		SDメモリーカードに録音した内容を再生します。(47 ページ参照)
		録音を停止します。(47 ページ参照)
		再生を巻き戻します。(48 ページ参照)
		再生を早送りします。(48 ページ参照)
		録音した内容を消去します。(48 ページ参照)
その他		前の画面に戻ります。
		表示されている項目を選択します。
		変更した設定を決定します。
		ディスプレイに表示されている動作を実行します。
		ディスプレイに表示されている動作を実行せずに、取り消します。
		SDメモリーカードをフォーマットします。(32 ページ参照)

本機を接続する

ここでは、IP回線および一般電話回線に接続する場合の説明をします。
PHS電話機またはパソコンを接続する場合は、49 ページまたは50 ページを参照してください。



1 使用する回線に合わせて、下記のように接続する

- IP回線を使用する場合は、カテゴリ5以上のLANケーブルを本機のLANジャックとスイッチングハブに差し込んでください。
- 一般電話回線を使用する場合は、電話機コードを本機のLINEジャックと電話コンセントに差し込んでください。

2 付属のACアダプターのコードを本機のDC INジャックに差し込む

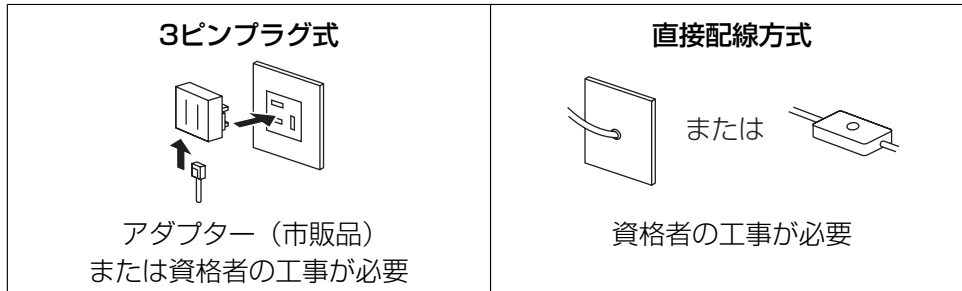
- 必ず付属のACアダプターを使用してください。
- ACアダプターコードは、差入口の下にある溝に通してください。
- IEEE802.3af準拠のPoEスイッチングハブを使用して電源の供給を受けることもできます。

3 ACアダプターをコンセントに差し込む

- ACアダプターは、壁付けまたは床付けのコンセントに差し込んでください。天井付けのコンセントにACアダプターを差し込むと、アダプターの重さでコンセントから外れることがあります。

お願い

- 一般電話回線に接続する場合は、必ず6極2芯の電話機コードをお使いください。他の種類のコード（6極4芯など）を使用すると、雑音が入ったり、通話できない場合があります。
- 一般電話回線に接続する場合は、本機をモジュージャックに直接接続してください。他の機器（FAXなど）を間に接続させると、誤動作の原因になります。
- お使いの電話コンセントによっては、下記の処理が必要になります。



お知らせ

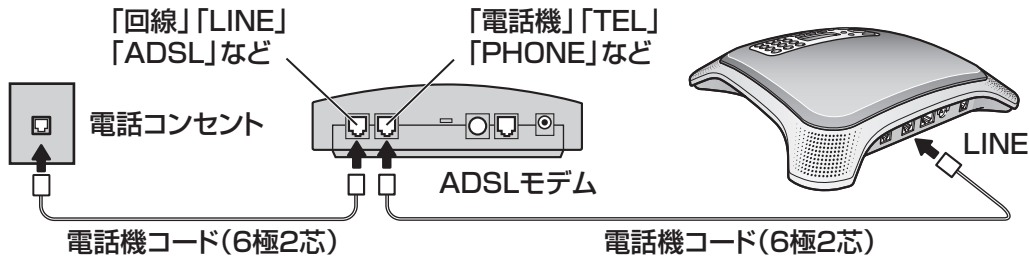
- 停電時の発着信はできません。
- ACアダプターをコンセントに差し込むと、ACアダプターの温度が上がりますが、故障ではありません。
- ACアダプターは、本機の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

ADSL／ISDNに接続する

ここでは、ADSLおよびISDNに接続する場合の説明をします。

ADSLに接続する

ADSLに接続する場合は、別途ADSLモデムおよび電話機コード（6極2芯）が必要です。



お願い

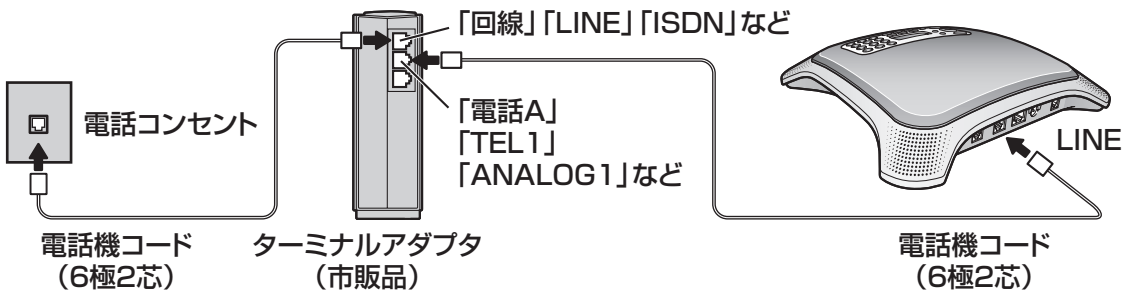
- ADSLモデムのLANジャックに本機を接続しないでください。

お知らせ

- 使用するモデムの種類によっては、スプリッタが必要になる場合があります。詳細は、ADSLの事業者にご相談ください。

ISDNに接続する

ISDNに接続する場合は、別途ターミナルアダプタおよび電話機コード（6極2芯）が必要です。



お願い

- ISDNに接続する場合は、電話の回線種別を「**ブッシュ**」に設定してください。(28 ページ参照)
- 下記の機能を使用する場合は、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
 - ナンバー・ディスプレイ (本機ではナンバー・ディスプレイの機能はありません)
 - ダイヤルイン (本機ではダイヤルインの機能はありません)
 - キャッチホン
- 電話をかけられない・受けられない・相手が切っても着信音が鳴り続ける場合は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

日付・時刻を設定する

ご使用になる前に、日付・時刻を設定してください。日付と時刻は、待機中にディスプレイに表示されます。また、SDメモリーカードを使用して会話を録音したときに記録され、再生するときに表示されます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「キホン セッテイ」を選び、**選択**を押す
- 3 「カレンダー」を選び、**選択**を押す
- 4 ダイヤルキーを使用して、年月日、時間（24時間制）、分をそれぞれ2ケタで入力する
例：「2008年1月23日午後7時45分」と入力するには、**[0801231945]** と押してください。
 - 間違えた場合は、**<** を押してカーソルを移動し、入力し直してください。
- 5 **決定**を押す
- 6 【メニュー】を押す

お知らせ

- 時刻表示は、12時間制／24時間制の選択ができます。（57 ページ参照）

動作モードを設定する

「ドウサ モード」の設定によって、本機はピアツーピアのIP音声会議ホン、パソコンのUSBオーディオ機器、またはSIPサーバーのSIP端末として動作します。動作モードと使用できる回線（36 ページ参照）の組み合わせは以下のとおりです。

動作モード	使用できる回線
Peer to Peer	IP + TEL
	IP + PHS
	IP + PC
USB Audio	—
SIP Phone	IP + TEL
	IP + PHS
	IP + PC

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「ドウサ モード」を選び、**選択**を押す
- 3 使用したい動作モードを選ぶ（お買い上げ時の設定：「Peer to Peer」）
 - 「Peer to Peer」：ピアツーピアのIP音声会議ホンとして動作します。相手のIPアドレスを入力して発信します。
 - 「USB Audio」：パソコンのUSB オーディオ機器として動作します。（50 ページ参照）
 - 「SIP Phone」：SIPサーバーのSIP端末として動作します。相手のSIPのユーザーID（内線番号や電話番号）を入力して発信します。
- 4 **決定**を押す
- 5 設定を有効にするため、ACアダプターを抜き差しして再起動する
 - PoEで電源の供給を受けている場合は、LANケーブルを抜き差ししてください。

お知らせ

- 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されている場合、他の回線（IP、TEL、PHS、PC）で発着信できません。

一般電話回線を設定する

回線を設定する

一般電話回線を使用する場合、「カイセン センタク」が「IP + TEL」に設定されている必要があります。(お買い上げ時の設定：「IP + TEL」)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 **回線** を押す
- 3 「IP + TEL」を選ぶ

重要

- 「IP + PC」または「IP + PHS」が選択されている場合、一般電話回線を使用して発信することはできません。

- 4 **決定** を押す
- 5 【メニュー】を押す

電話の回線種別を設定する

ご使用になる一般電話回線の種別に合わせて設定してください。(お買い上げ時の設定：「プッシュ」)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「デンワ セッテイ」を選び、**選択** を押す
- 3 「カイセン シュベツ」を選び、**選択** を押す
- 4 回線の種別に合わせて、「10 PPS」、「20 PPS」または「プッシュ」を選ぶ
- 5 **決定** を押す
- 6 【メニュー】を押す

ナンバー・ディスプレイの設定を変更する

本機は、ナンバー・ディスプレイサービスに対応していません。そのため、相手の番号を表示できませんが、ナンバー・ディスプレイ契約回線を使用している場合は、着信音が正常に鳴るようにするために、「ナンバーディスプレイ」設定を「ハイ」にする必要があります。(お買い上げ時の設定：「イイエ」)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「デンワ セッテイ」を選び、**選択** を押す
- 3 「ナンバーディスプレイ」を選び、**選択** を押す
- 4 「ハイ」を選ぶ
- 5 **決定** を押す
- 6 【メニュー】を押す

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイ契約回線を使用していて、設定を「ハイ」にしている場合
電話がかかってくると「ベル カクニンチュウ」が約6秒間表示されます。その後、「TEL チャクシン」が表示され、着信音が鳴ります。
ナンバー・ディスプレイ契約回線を使用していて、設定を「イイエ」にしている場合
着信音は鳴りますが、最初の6秒間は電話を受けることができません。電話を受けるには、約6秒経ってから【スピーカーホン】を押します。

IPネットワークを設定する

本機でIP回線を使用して通話する場合は、お使いのIPネットワークに合わせて、下記の設定をしてください。設定値については、システム管理者にご相談ください。

- 自動設定 (DHCP) または手動設定 (固定設定)
- IPアドレス (固定設定の場合のみ必要)
- サブネットマスク (固定設定の場合のみ必要)
- デフォルトゲートウェイ (固定設定の場合のみ必要)

お知らせ

- IPアドレスは、【0】～【9】で数字を、【*】でピリオドを入力します。
(例:「192.168.0.1」と入力するには、【192*168*0*1】と押します。)

自動設定 (DHCP)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「IPネットワーク セッテイ」を選び、**選択**を押す
- 3 「IPアドレス モード」を選び、**選択**を押す
- 4 「DHCP」を選び、**決定**を押す
- 5 設定を有効にするため、ACアダプターを抜き差しして再起動する
 - PoEで電源の供給を受けている場合は、LANケーブルを抜き差ししてください。

お知らせ

- 下記の手順でIPアドレスを確認することができます。
【メニュー】→「IPアドレス カクニン」

手動設定 (固定設定)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「IPネットワーク セッテイ」を選び、**選択**を押す
- 3 「IPアドレス モード」を選び、**選択**を押す
- 4 「コテイ」を選び、**決定**を押す
- 5 「IPアドレス」を選び、**選択**を押す
- 6 使用するIPアドレスを入力し、**決定**を押す
- 7 「サブネットマスク」を選び、**選択**を押す
- 8 サブネットマスクを入力し、**決定**を押す
- 9 「デフォルトゲートウェイ」を選び、**選択**を押す
- 10 デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力し、**決定**を押す
- 11 設定を有効にするため、ACアダプターを抜き差しして再起動する
 - PoEで電源の供給を受けている場合は、LANケーブルを抜き差ししてください。

お知らせ

- 下記の手順でIPアドレスを確認することができます。
【メニュー】→「IPアドレス カクニン」

SIPを設定する

本機をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「**ドウサ モード**」を「**SIP Phone**」に設定し（27 ページ参照）、SIPサーバーに合わせて以下の設定をしてください。

設定値については、システム管理者にご相談ください。また、SIPサーバーの設定についてはSIPサーバーの取扱説明書をご覧ください。

- 1 **【メニュー】** を押す
- 2 **「プロトコル セッテイ」** を選び、**【選択】** を押す
- 3 **「SIPユーザID」** を選び、**【選択】** を押す
- 4 本機のSIPのユーザーID（内線番号）を入力し（最大32ケタ）、**【決定】** を押す
 - SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。
- 5 **「SIPパスワード」** を選び、**【選択】** を押す
- 6 パスワードを入力し（最大32文字）、**【決定】** を押す
 - **【文字】** を押して数字／アルファベットの入力を切り替えることができます。
 - **【*】** を押して大文字／小文字の入力を切り替えることができます。
 - 文字入力については44 ページおよび46 ページを参照してください。
- 7 **「SIPユーザドメインネーム」** を選び、**【選択】** を押す
- 8 SIPサーバーのIPアドレスを入力し、**【決定】** を押す
- 9 **「SIPプロキシサーバ IPアドレス」** を選び、**【選択】** を押す
- 10 SIPサーバーまたはSIPプロキシサーバーのIPアドレスを入力し、**【決定】** を押す
- 11 **「SIPプロキシサーバポートバンゴウ」** を選び、**【選択】** を押す
- 12 SIPサーバーまたはSIPプロキシサーバーのSIPポート番号を入力し、**【決定】** を押す
- 13 **「SIPレジストラサーバ IPアドレス」** を選び、**【選択】** を押す

14 SIPサーバーまたはSIPレジストラサーバーのIPアドレスを入力し、**【決定】** を押す

15 **「SIPレジストラサーバポートバンゴウ」** を選び、**【選択】** を押す

16 SIPサーバーまたはSIPレジストラサーバーのSIPポート番号を入力し、**【決定】** を押す

17 設定を有効にするため、ACアダプターを抜き差しして再起動する

- PoEで電源の供給を受けている場合は、LANケーブルを抜き差ししてください。

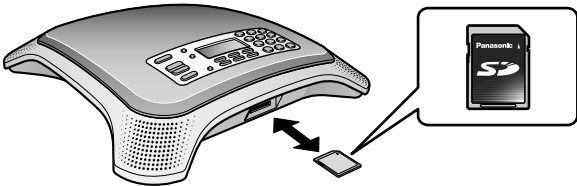
SDメモリーカードを使う

別売のSDメモリーカードを使用して通話を録音できます。また、通話中以外の録音（メモ録音）もできます。（47 ページ参照）

SDメモリーカードを入れる／取り出す

ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでSDメモリーカードをまっすぐ押し込んでください。取り出すときは、カードをゆっくり押し戻してまっすぐ引き出してください。

- カードが挿入されると、**SD** がディスプレイ左上に表示されます。
- カードを読み込んでいる間は、ディスプレイ左上の**SD** が点滅表示されます。



使用時の注意点

データの破損やSDメモリーカードの損傷を防ぎ、本機を正常に動作させるため、下記のことにご注意してください。

- 再生中、録音中、フォーマット中、カードの読み込み中、データの消去中はカードを抜いたり、ACアダプターを抜いたりしないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。PoE給電を使用している場合は、LANケーブルを抜かないでください。
- カードの裏側の端子接触部に触れないでください。本機の損傷を防ぐため、使用可能なカード以外は入れないでください。

使用可能なSDメモリーカード

本機は、32 MBから2 GBまでのSDメモリーカード、miniSDメモリーカード、microSDメモリーカードに対応しています。

- miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードを使用する場合は、対応するアダプターに必ずカードを入れてお使いください。

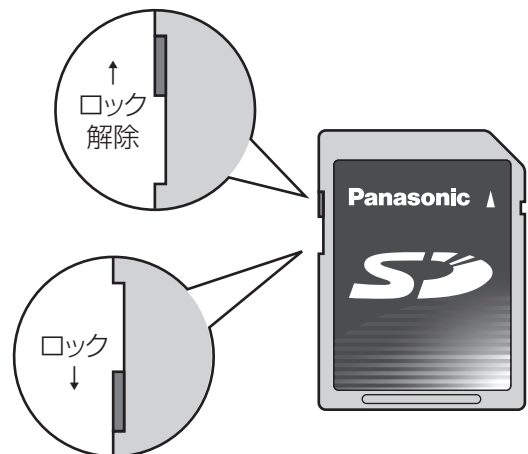
- SDHCメモリーカード、miniSDHCメモリーカード、microSDHCメモリーカードは使用できません。
- 書き込み速度が遅いSDメモリーカードの場合は、録音できないことがあります。

録音時間のめやす

SDメモリーカード	録音時間のめやす
2 GB	67時間
1 GB	33時間
512 MB	17時間
256 MB	8時間
128 MB	4時間
64 MB	2時間
32 MB	1時間

ロック／ロック解除

SDメモリーカードをロックすると、フォーマット、データの消去、カードへの録音ができなくなります。ロックするには、カードの側面にある書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にスライドします。



データのバックアップ

電磁波や静電気などでSDメモリーカードに保存されているデータが壊れたり消失したりすることがあります。重要なデータはパソコンなどにバックアップを取ってください。

SDメモリーカードをフォーマットする

フォーマットが表示された場合、SDメモリーカードのフォーマットが必要です。下記の手順でフォーマットしてください。

1. **フォーマット**を押す

重要

- フォーマットすると、カード内の情報はすべて消去されます。
- フォーマット中はカードやACアダプターを抜かないでください。スイッチングハブからPoE給電を使用している場合は、LANケーブルを抜かないでください。
- フォーマット中は振動や衝撃を与えないでください。

お知らせ

- FAT以外の形式でフォーマットされたカードは、本機でフォーマットできません。パソコンを使用して、FAT形式でフォーマットしてください。

パソコンでフォーマットする

SDメモリーカードをパソコンでフォーマットする場合は、FAT形式でフォーマットしてください。フォーマットの方法については、カードの取扱説明書等をご覧ください。

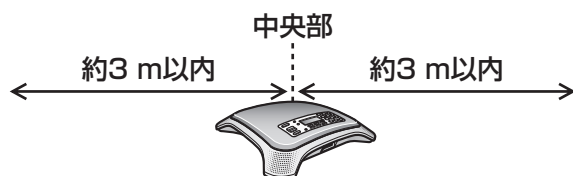
重要

- フォーマットすると、カード内の情報はすべて消去されます。

マイクについて

内蔵マイクについて

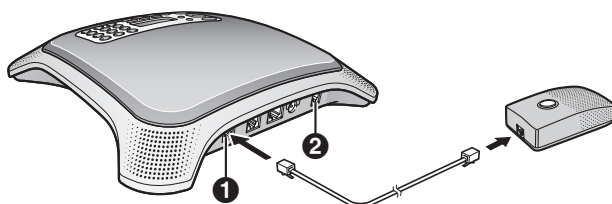
内蔵マイクを通じて相手に音声を送ります。通話するときは、本機より約3 m以内の場所で通話してください。周囲の環境によっては、相手の声のとぎれることがあります。



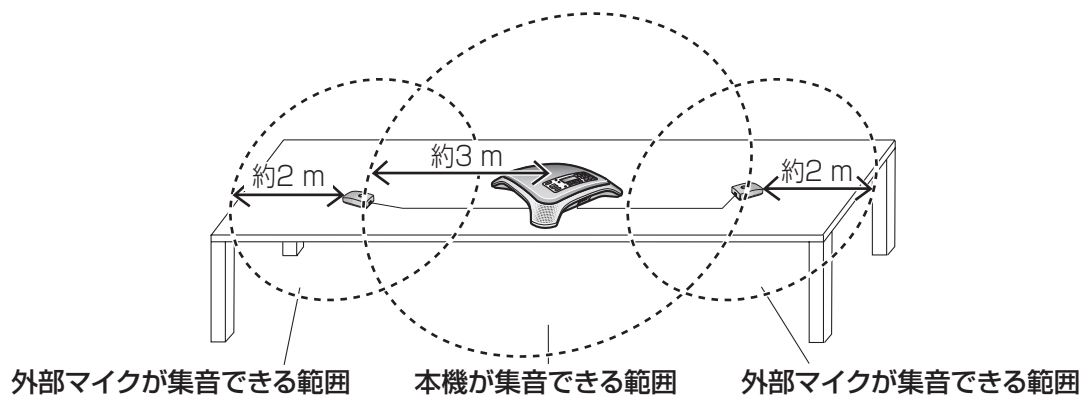
外部マイクを接続する

EXT MIC1 (①) およびEXT MIC2 (②) のジャックに別売の外部マイク (KX-TCA174JP) をそれぞれ1つ (計2つ) 接続することができます。外部マイクを接続しても、内蔵マイクは作動します。外部マイクの集音範囲は約2 mです。

外部マイクは本機から1 m以上離れた位置に置いてください。



例：外部マイクを2個設置した場合



お願い

- 通話中に外部マイクを移動させないでください。移動させると、ハウリングが発生することがあります。

IP会議ホンマネージャーをインストール／アンインストールする

付属のIP会議ホンマネージャーを使用すると、下記のことできます。

- パソコンによる本機の操作
- 本機の機能設定

詳細については、69 ページを参照してください。

パソコンの動作環境について

対応OS

Microsoft Windows XP (全エディション)、
Windows Vista (全エディション)

Windows XP ご使用の場合のハードウェア仕様

- CPU：Intel PentiumまたはCeleron 1 GHz、もしくはそれに相当するCPU
- ハードディスク：1 GB 以上の空き領域
- メモリ：256 MB以上を推奨

Windows Vista ご使用の場合のハードウェア仕様

- CPU：Intel PentiumまたはCeleron 1 GHz、もしくはそれに相当するCPU
- ハードディスク：1 GB 以上の空き領域
- メモリ：512 MB以上を推奨

IP会議ホンマネージャーをインストールする

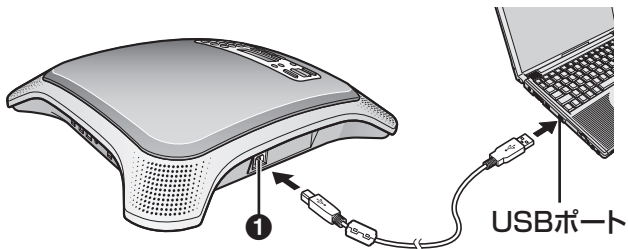
- 1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 2 トップ画面から「IP会議ホンマネージャー」をクリックする
 - 「Setup.exe」に関するダイアログボックスが表示されます。
- 3 「OK」をクリックする
 - 「Setup.exe」を含むフォルダが表示されます。
- 4 「Setup.exe」をダブルクリックする
 - インストール時の言語を選択する画面が表示されます。
- 5 インストールプログラムの言語を選択し、「OK」をクリックする
 - セットアップウィザードが表示されます。
- 6 IP会議ホンマネージャーのセットアップウィザードの指示に従って、IP会議ホンマネージャーをインストールする
 - Windowsロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありませんので「続行」をクリックしてください。
- 7 「完了」をクリックする
 - 「起動 IP会議ホンマネージャー」にチェックを入れていると、IP会議ホンマネージャーが起動します。
 - インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが表示されます。

右記のアイコンをダブルクリックすると、IP会議ホンマネージャーが起動します。



USBドライバーをインストールする

- 1 付属のUSBケーブルを本機のUSBポート (❶) とパソコンのUSBポートに接続する



- 本機に対応したUSBドライバーのセットアップウィザードがパソコンの画面上に表示されますので、「次へ」をクリックしてインストールしてください。
セットアップウィザードが表示されない場合は、「ドウサ モード」を「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。(27 ページ参照)

- 2 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする

- Windowsロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありませんので「続行」をクリックしてください。

- 3 「完了」をクリックする

IP会議ホンマネージャーをアンインストールする

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Panasonic」 → 「Conferencing Phone Manager」 → 「Uninstall」をクリックする
 - アンインストールを確認するダイアログボックスが表示されます。
- 2 「はい」をクリックする
 - IP会議ホンマネージャーのアンインストールが始まります。アンインストール完了後、完了を示すダイアログボックスが表示されます。
- 3 「完了」をクリックする

回線を設定する

以下の回線を使用して電話をかけることができます。使用する回線は「**カイセン センタク**」で設定してください。

- IP回線（「IP」）（36 ページ参照）
- 一般電話回線（「TEL」）（36 ページ参照）
- PHS回線（「PHS」）（49 ページ参照）
- PC回線（「PC」）（51 ページ参照）

1 **【メニュー】** を押す

2 **回線** を押す

3 使用したい回線を選ぶ

- 「IP + TEL」：IP回線および一般電話回線が使用できます。
- 「IP + PHS」：IP回線およびPHS電話機が使用できます。
- 「IP + PC」：IP回線およびパソコンが使用できます。

4 **決定** を押す

5 **【メニュー】** を押す

重要

- 「IP + PC」または「IP + PHS」に設定されている場合、一般電話回線からは着信しません。

お知らせ

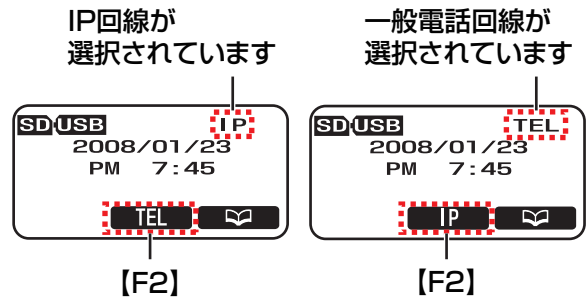
- 「**ドウサ モード**」が「**USB Audio**」に設定されている場合、「**カイセン センタク**」設定はできません。

電話をかける

1 使用したい回線（「IP」または「TEL」）が選択されていることを確認する（ディスプレイ右上の表示）

- 回線を変更する場合は、中央のソフトボタン **【F2】** を押してください。

例：



- 使用したい回線が表示されていない場合（ディスプレイ右上および中央下）、使用したい回線を設定してください。（左記参照）

2 **【スピーカーホン】** を押す

3 一般電話回線：電話番号を入力する
IP回線（「Peer to Peer」モード）：IPアドレスを入力する

IP回線（「SIP Phone」モード）：SIPのユーザーID（電話番号）を入力する

- IPアドレスは、**【0】** ～ **【9】** で数字を、**【*】** でピリオドを入力します。最後に **【#】** もしくは **【決定】** を押してください。
（例：「192.168.0.1」と入力するには、**【192*168*0*1】** と押します。）
- 通話開始直後は、相手と交互にお話ください。本機が、通話環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくなるように自動的に調整します。
- 通話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。
- 本機がダイヤル回線（「10 PPS」／「20 PPS」）に設定されている場合に、一時的にプッシュ回線を使用するときは、**【*】** を押してください。
- SIP端末のユーザー名など、数字以外の文字列を入力することはできません。

4 通話を終了するときは、**【スピーカーホン】** または **切断** を押す

お知らせ

- 電話帳を使用して電話をかける場合は、38 ページを参照してください。
- PHS電話機／パソコンを使用して電話をかける場合は、49 ページまたは51 ページを参照してください。
- 一般電話回線を使用した場合、本機の学習機能が働き、通話開始後約30秒程度相手の声が途切れて聞こえることがあります。学習時間は通話環境および回線状況により変わります。
- 本機がIP回線に接続されていない場合は、中央のソフトボタンに回線の種類が表示されません。
- 通話時間表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

スピーカー音量を調節する

通話中に【^】（上げる）または【v】（下げる）を繰り返し押し、8段階でスピーカー音量の調節ができます。調節中は音量が以下のように表示されます。



小さい

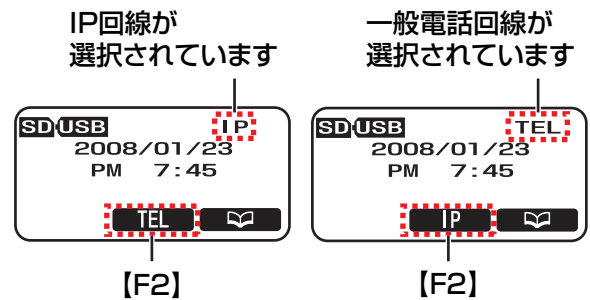
大きい

- 自分の声が相手に聞き取りにくい場合は、通話中に【v】を押してスピーカー音量を下げてください。相手に聞こえる自分の声が聞き取りやすくなります。

電話番号やIPアドレスを入力してからかける

- 使用したい回線（「IP」または「TEL」）が選択されていることを確認する（ディスプレイ右上の表示）
 - 回線を変更する場合は、中央のソフトボタン【F2】を押してください。

例：



- 使用したい回線が表示されていない場合（ディスプレイ右上および中央下）、36 ページを参照してください。

2 一般電話回線：電話番号を入力する

IP回線（「Peer to Peer」モード）：IPアドレスを入力する

IP回線（「SIP Phone」モード）：SIPのユーザーID（電話番号）を入力する

- 間違えた場合は、【クリアー】を押した後、入力をやり直してください。すべて消去する場合は、【クリアー】を1秒以上押し続けてください。
- 一般電話回線で電話をかける場合、ポーズが必要なときは【再ダイヤル／ポーズ】を押してください。

3 【スピーカーホン】または を押す

4 通話を終了するときには、【スピーカーホン】または を押す

お知らせ

- 本機がIP回線に接続されていない場合は、中央のソフトボタンに回線の種類が表示されません。


同じ相手にもう一度かける

発信履歴を使用して、以前にかけた相手に電話をかけることができます。発信履歴には、新しい順に10件まで記憶されています。

1 【再ダイヤル／ポーズ】を押す

- 直前にかけた相手が表示されます。

2 【^】または【v】を押して電話をかけたい相手を表示させる

- 表示された相手を消去する場合は、 を押してください。

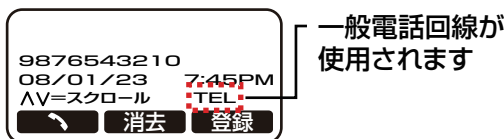
- ・ 発信履歴の表示を終了する場合は、【メニュー】を押してください。

3 【スピーカーホン】または を押す

お知らせ

- ・ 発信履歴のディスプレイ右下には、使用した回線（「IP」または「TEL」）が表示されます。発信履歴を使用して電話をかけるときに、この回線が使用されます。

例：




- ・ 「カイセン センタク」（36 ページ参照）が「IP + PC」または「IP + PHS」に設定されている場合、一般電話回線からは再ダイヤルできません。
- ・ ダイヤルした番号のケタ数が以下の制限をこえた場合、正しく再ダイヤルできません。
 - － 一般電話回線：128ケタ
 - － IP回線（「SIP Phone」モード）：32ケタ

ダイヤルポーズを入力する

一般電話回線を使用しているときに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れることができます。ダイヤル時に【再ダイヤル／ポーズ】ボタンを押すと、電話番号とダイヤルポーズが発信履歴に記憶されます。発信履歴から電話をかける場合、【再ダイヤル／ポーズ】が入力されている個所でポーズが挿入されます。ポーズの長さは、3秒／5秒のいずれかに設定できます。（お買い上げ時の設定：3 s）（59 ページ参照）

例：外線発信時に【9】を押す場合

- 1 【9】を押す（外線にアクセスする）
- 2 【再ダイヤル／ポーズ】を押す
 - ・ ポーズを長くする場合は、【再ダイヤル／ポーズ】を繰り返し押します。押すたびに設定された長さのポーズが挿入されます。
- 3 電話番号をダイヤルする
- 4 【スピーカーホン】または  を押す

電話帳を使用して電話をかける

電話帳の登録については、44 ページを参照してください。

1 を押す

2 【^】または【v】を押して電話帳をスクロールさせる

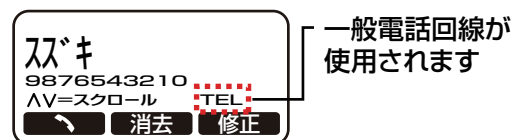
- ・ 【v】を押すと、電話帳の項目は下記の順で表示されます。
数字→アルファベット→カナ→記号
- ・ 名前の頭文字を入力して検索することもできます。ダイヤルキーで頭文字を選んでから、【^】または【v】を繰り返し押して、かけたい相手を表示させてください。
- ・ 検索を終了する場合は、【メニュー】を押してください。

3 相手が表示されたら、【スピーカーホン】または を押す

お知らせ

- ・ 電話帳のディスプレイ右下には、登録したときの回線（「IP」または「TEL」）が表示されます。電話帳を使用して電話をかけるときに、この回線が使用されます。

例：



- ・ 「カイセン センタク」（36 ページ参照）が「IP + PC」または「IP + PHS」に設定されている場合、一般電話回線からは発信できません。

3者通話をする

2者通話中に、別の相手に電話をかけたり、別の相手からの着信を受けたりすると、同時に3者での通話ができます。3者通話が可能な回線の組み合わせは以下のとおりです。

- IP回線と一般電話回線（1通話ずつ）
- IP回線とPHS回線（1通話ずつ）
- IP回線とPC回線（1通話ずつ）
- IP回線で2通話（「Peer to Peer」モード時のみ）

電話を受けて3者通話をする場合は、41 ページを参照してください。

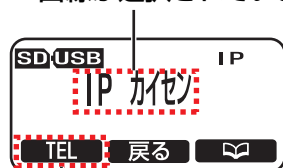
- 1 使用したい回線が、「**カイセン センタク**」（36 ページ参照）で設定されているか確認する
 - IP回線以外の回線を使用している場合は手順2へ進んでください。

- 2 **会議** を押す
 - 現在の通話が保留になります。
 - 「SIP Phone」モードの場合は、使用可能な回線が自動的に選択されるので、手順4へ進んでください。

- 3 使用したい回線（「IP」、「TEL」、「PHS」、「PC」）が選択されていることを確認する（ディスプレイ中央の表示）
 - 回線を変更する場合は、ソフトボタン **[F1]** を押してください。

例：

IP回線が選択されています



[F1]

- 本機の **戻る** を押すと、最初の相手との通話に戻ります。
- 4 選択している回線に応じて、本機、PHS電話機、またはパソコンで相手に電話をかけて通話状態にする
 - 本機の電話帳を使用して電話をかける場合は、38 ページを参照してください。

- 本機の **切断** を押すと、2番目の通話を終了し、最初の相手との通話に戻ります。

5 **会議** を押して3者通話を始める

お知らせ

- 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されている場合、3者通話はできません。

3者通話を終了させる

1 **切断** を押す

- 通話を続ける場合は、**戻る** を押してください。
- **【スピーカーホン】** を押して3者通話を終了させることもできます。この場合、両方の相手との通話が同時に終了します。

2 **【^】** または **【v】** を押して通話を終了させたい相手を選び、**選択** を押す

- もう一方の相手とは、通話を続けることができます。
- 両方の相手との通話を終了させる場合は、「**スベテ**」を選んで、**選択** を押してください。

電話を受ける

IP回線、一般電話回線経由で電話がかかってくると、着信した回線の種類がディスプレイに表示されます。例：「IP チャクシン」

重要

- 「**カイセン センタク**」が「**IP + PC**」または「**IP + PHS**」に設定されている場合（36 ページ参照）、一般電話回線からは着信しません。
- 「**ドウサ モード**」が「**USB Audio**」に設定されている場合、他の回線（IP、TEL、PHS、PC）で着信できません。

1 **【スピーカーホン】** または **【応答】** を押す

- ナンバー・ディスプレイ契約回線に接続している場合でも、相手の電話番号は表示されません。（28 ページ参照）
- 着信を拒否する場合は、**【拒否】** を押してください。
- 通話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。

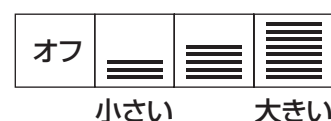
2 通話を終了するときは、**【スピーカーホン】** または **【切断】** を押す

お知らせ

- 「**Peer to Peer**」モードでIP回線を使用して通話する場合、相手に本機のIPアドレスを伝える必要があります。下記の手順でIPアドレスを確認することができます。
【メニュー】 → **【IPアドレス カクニン】**
- 一般電話回線を使用した場合、本機の学習機能が働き、通話開始後約30秒程度相手の声が途切れて聞こえることがあります。学習時間は通話環境および回線状況により変わります。

着信音量を調節する

待機中または着信中に **【^】**（上げる）または **【v】**（下げる）を繰り返し押して、「**オフ**」を含めて4段階で音量を調節することができます。



3者通話をする（割込み着信機能）

通話中に別の相手から着信を受けて通話したり、通話を3者通話に移行させたりすることができます。

IP回線を使用して通話している場合は、IP回線、一般電話回線のどちらでも着信することができます。

「ドウサ モード」を「SIP Phone」に設定して通話している場合は、一般電話回線からのみ着信することができます。

一般電話回線、PHS回線またはPC回線を使用して通話している場合は、IP回線からのみ着信することができます。

本機能を使用するには、あらかじめ「ワリコミ チャクシン」を「キョカ」に設定する必要があります。

(58 ページ参照)

(お買い上げ時の設定：「キョカ」)

通話中に着信があると、割込み着信音が聞こえます。

(58 ページ参照)

着信を拒否する

1 **拒否** を押す

- 現在の通話はそのまま継続されます。

別の相手と通話して3者通話に入る

1 **応答** を押す

- 現在の通話が保留になり、別の相手と通話することができます。
- 別の相手を切断する場合は、**切断** を押してください。

2 **会議** を押す

- 3者通話を開始します。

現在の通話を保留にせずに3者通話に入る

1 **会議** を押す

- 3者通話を開始します。

3者通話を終了させる

1 **切断** を押す

- 通話を続ける場合は、**戻る** を押してください。

2 **【^】** または **【v】** を押して通話を終了させたい相手を選び、**選択** を押す

- 選択した相手との通話は切断され、もう一方の相手と通話を続けることができます。

- 両方の相手との通話を終了させる場合は、「スベテ」を選んで、**選択** を押してください。

お知らせ

- 【スピーカーホン】を押して3者通話を終了させることもできます。この場合、両方の相手との通話が同時に終了します。

通話中の便利な機能

ミュートボタンを使う

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすること（ミュート）ができます。【ミュート】を押すと、相手の声は聞こえますが、相手には自分の声は聞こえません。

通話に戻る場合は、もう一度【ミュート】を押してください。

お知らせ

- 外部マイク接続時に本機能をONにすると、内蔵マイクと外部マイクの両方がミュートの状態になります。
- 本機能がONの間は、「ミュート」が表示され、インジケータが赤色で点灯します。

キャッチボタンを使う

キャッチホンのサービスを利用している場合、【キャッチ】を押すと、通話中にかかってきた電話を受けることができます。

お知らせ

- 【キャッチ】を押したときの回線切断時間（フラッシュの時間）を変更できます。（59 ページ参照）設定値については、システム管理者にご相談ください。
- 本機能は、IP回線での通話では使用できません。

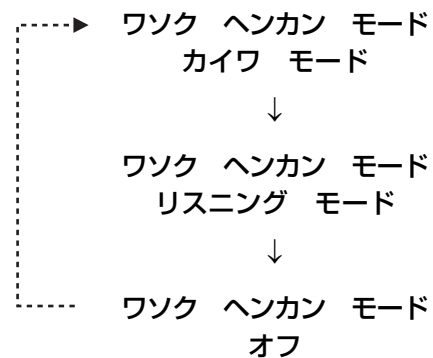
会話速度を変える

通話中に【話速】を押すと、相手の会話速度を遅くすることができます。

会話速度を変えるには、下記2種類のモードがあります。

- カイク モード（会話モード）：相手の話をゆっくり聞いて会話を行うような場合に使用します。
- リスニング モード：相手の話を一方的にゆっくり聞くような場合に使用します。

【話速】 ボタンを押すと、話速変換モードの設定が約3秒間表示されます。【話速】 ボタンを押す度に、以下の順番で設定が切り替わります。



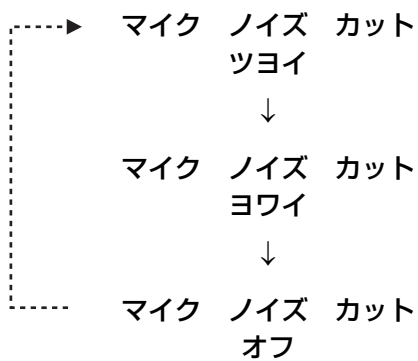
お知らせ

- 相手が5秒以上連続して話し続けると、相手の声は通常の会話速度で聞こえるようになります。この場合、1秒以上無音状態が続くと、本機能は再び動作します。
- 「カイク モード」より「リスニング モード」の方が、相手の通話速度がより遅くなります。
- 本機能が有効になっているときは、ディスプレイに「ゆっくり」が表示されます。
- 話速変換モードをオフにしたとき、音声途切れることがあります。

マイクのノイズを減少させる

通話中に【マイクノイズカット】ボタンを押して、相手に送る音声のノイズを減少させることができます。本機能は、自分のマイクに周囲の雑音が入りやすい環境で使用するとき便利です。

【マイクノイズカット】ボタンを押すと、マイクノイズカットの設定が約3秒間表示されます。【マイクノイズカット】ボタンを押す度に、以下の順番で設定が切り替わります。



お知らせ

- 本機能を使用すると、周囲のノイズの状況によっては、相手の受話音質が若干こもった感じに聞こえる場合があります。
- 本機能が有効になっているときは、ディスプレイに「ノイズカットON」が表示されます。

電話帳に登録する

電話帳には、名前と、電話番号またはIPアドレスを100件まで登録することができます。



電話帳を使用して電話をかける方法については、38 ページを参照してください。

1 を押す

- 電話帳に登録された件数がディスプレイに表示されます。

2 を押す

3 名前を入力し（最大16文字）、**【決定】** を押す

- カタカナ、アルファベット、数字、記号が入力できます。
- スペースを入力する場合は、下記のボタン操作を行ってください。
 - カーソルの位置に文字が入力されていない場合は、 を1回押す
 - カーソルの位置に文字が入力されている場合は、 を2回押す
 - 英字（小文字）入力モードでは、**【0】** を2回押す

4 **【^】** または **【v】** を押して回線（**【TEL】** または **【IP】**）を選び、**【選択】** を押す

5 電話番号（最大32ケタ）またはIPアドレスを入力し、**【決定】** または **【決定】** を押す

- 「ドウサ モード」**（27 ページ参照）が **【Peer to Peer】** に設定されている場合は、IPアドレスを入力してください。**【SIP Phone】** に設定されている場合は、SIPのユーザーID（電話番号）を入力してください。
- IPアドレスは、**【0】** ～ **【9】** で数字を、**【*】** でピリオドを入力します。
（例：「192.168.0.1」と入力するには、**【192*168*0*1】** と押します。）
- 本機がダイヤル回線（**【10 PPS】** / **【20 PPS】**）に設定されている場合、番号の前に **【*】** を入力すると、電話帳から電話をかけるとき、トーン信号で発信できます。
- 番号の途中にポーズを入れる場合は、**【再ダイヤル/ポーズ】** を押してください。（38 ページ参照）


- 項目を追加する場合は、操作を手順2から繰り返します。

6 **【メニュー】** を押す

お知らせ

- 電話帳の項目を登録中に1分間操作を行わないと、自動的に待機状態に戻ります。
- 1つの項目には、電話番号とIPアドレスを両方登録することはできません。
- PHS回線またはPC回線を選択している場合は、電話帳は使用できません。

入力する

ダイヤルキーにはそれぞれ入力できる文字が割り当てられています。入力したい文字が表示されるまで、該当するダイヤルキーを繰り返し押します。同じダイヤルキーに割り当てられている文字を続けて入力するには、 を押してカーソルを右に移動させてください。



文字入力モード

電話帳の文字入力モードは以下のとおりです。選択されている入力モードは、ディスプレイ右上に表示されます。

- 【カナ】**：
カタカナ入力モード
- 【ABC2】** / **【abc2】**：
英字（大文字 / 小文字）入力モード
- 【1234】**：
数字入力モード

入力モードは **【文字】** を押して切り替えることができます。英字入力モードでは、**【*】** を押して大文字 / 小文字の入力を切り替えることができます。入力できる文字については、46 ページを参照してください。

入力中に修正する

 または  を押して、入力したい場所や消去したい文字・数字までカーソルを移動し、下記いずれかの操作を行ってください。

- 文字や数字を入力する場合は、該当するダイヤルキーを押してください。
- 文字や数字を1つ消去する場合は、**【クリアー】** を押してください。

- 文字や番号をすべて消去する場合は、【クリアー】を1秒以上押し続けてください。

修正する

- 修正したい項目を検索する（38 ページ参照）
- 修正** を押す
- 名前を修正し、【決定】を押す
 - 名前を修正しない場合は、【決定】を押して、次の手順に進んでください。
- 【へ】または【v】を押して回線（「TEL」または「IP」）を選び、【決定】または**選択**を押す
- 電話番号またはIPアドレスを修正し、【決定】または**決定**を押す
 - 電話番号またはIPアドレスを修正しない場合は、【決定】を2回押して、次の手順に進んでください。
- 【メニュー】を押して終了するか、操作を手順1から繰り返して他の項目を修正する

お知らせ

- 電話帳の項目を修正中に1分間操作を行わないと、自動的に待機状態に戻ります。

消去する

1件消去する

- 消去したい項目を検索する（38 ページ参照）
- 消去** を押す
- ハイ** を押す
 - 途中でやめる場合は、**イイエ** を押してください。
- 【メニュー】を押して終了するか、操作を手順1から繰り返して他の項目を消去する

電話帳の項目を全件消去する

- 📖** を押す
- 消去** を押す
- ハイ** を押す

4 【メニュー】を押す

お知らせ

- 下記の方法でも、電話帳の項目を全件消去することができます。
【メニュー】→「システム オプション」→「デ
ンワチョウ クリア」

文字列一覧表（文字リスト）

ボタン	カナ	ABC (大文字)	abc (小文字)
1 ^ア	アイウエオ アイウエオ1	@ . _ - & \$ ¥ % + = ~ ^ 1	
2 ^カ ABC	カキクケコ2	ABC2	abc2
3 ^サ DEF	サシスセソ3	DEF3	def3
4 ^タ GHI	タチツテトッ4	GHI4	ghi4
5 ^ナ JKL	ナニヌネノ5	JKL5	jkl5
6 ^ハ MNO	ハヒフヘホ6	MNO6	mno6
7 ^マ QRS	マミムメモ7	PQRS7	pqrs7
8 ^ヤ TUV	ヤユヨヤユヨ8	TUV8	tuv8
9 ^ワ XYZ	ラリルレロ9	WXYZ9	wxyz9
0 ^ワ ワ	ワロンー (スペース) !?()0	0 (スペース) ! ? / - * # , : ; ` ' " () [] { } < > 「 」	
* ^{A+a}	…、。	【*】を押すごとに 大文字 (ABC2) と 小文字 (abc2) が 入れ替わる	
#	(無効)	#	

お知らせ

- 最大入力文字数には、スペースも1文字分として含みます。

録音する前に

通話およびメモ（通話中以外の内容）を録音することができます。

SDメモリーカードに録音する

通話およびメモ（通話中以外の内容）をSDメモリーカードに録音することができます。

SDメモリーカードに録音する前に

下記のことを確認してください。

- 使用可能なSDメモリーカードが挿入されていること（31 ページ参照）
 - カードを挿入すると、**SD** がディスプレイに表示されます。
- カードがフォーマットされていること（32 ページ参照）
- カードがロックされていないこと（31 ページ参照）
 - カードがロックされている場合、カードを挿入すると「**カキコミホゴ サレテイマス**」が表示されます。
- カードの空き容量が1.25 MB以上あること
 - カードの空き容量が1.25 MB以下の場合、**録音** および「**メモ ロクオン**」が表示されず、録音できません。

お知らせ

- カードの容量にかかわらず、録音できるのは100件までです。
- 録音可能な時間が6分未満になると、録音中にディスプレイが点滅し、ディスプレイに録音可能な時間のめやすが表示されます。
- カードの空き容量がなくなると、「**メモリーいっぱい**」が表示されます。このときは、他の録音内容を消去するまで録音はできません。また、容量がいっぱいになると、録音は自動的に停止します。録音時間のめやすについては、31 ページを参照してください。

通話を録音する

- 1 通話中に **録音** を押す
 - 「**ノコリ ジカン**」および録音可能な時間のめやすが表示されてから、「**ツウワ ロクオンチュウ**」および通話時間のめやすが表示されます。
- 2 録音を停止するには、**停止** を押す
 - **【スピーカーホン】** を押して通話を終了させると、録音は自動的に停止します。

メモを録音する

SDメモリーカードにメモを録音することができます。

- 1 通話中でないときに **【メニュー】** を押す
- 2 「**メモ ロクオン**」を選び、**録音** を押す
 - 「**ノコリ ジカン**」および録音可能な時間のめやすが表示されてから、「**メモ ロクオンチュウ**」および通話時間のめやすが表示されます。
- 3 録音を停止するには、**停止** を押す
 - メモの録音中に電話がかかってくると、自動的に録音を中止します。

再生する

- 1 **再生** を押す
- 2 **【^】** または **【v】** を押して再生したい録音内容を選び、**選択** を押す
 - 録音した通話は、本機では「**📞** + 月日 + 時刻」の形式で表示されます。メモについては、本機では「**📝** + 月日 + 時刻」の形式で表示されます。
- 3 **再生** を押す
 - 再生を停止する場合は、**【戻る】** を押してください。
- 4 **【メニュー】** を押す

お知らせ

- 録音した内容はPCM形式で保存され、パソコンではWindows Media PlayerまたはQuickTimeを使用して再生することができます。録音した内容はSDメモリーカード内の下記フォルダに保存されます。
\\PRIVATE\MEIGROUP\PCC\IPSP
- パソコン上では、「REC001.WAV」～「REC100.WAV」の間で、空いている最小の番号がファイル名として自動的に付けられます。
- パソコンでフォルダ名およびファイル名を変更すると、本機では録音を再生することはできなくなります。
- 1秒以下の内容は録音できますが、再生することはできません。

再生中の便利な機能

再生中は、下記のことができます。

機能	操作
音量を調節する	【^】または【v】を押す
次の録音内容を再生する	再生中に【#】（【▶▶】）を押してから、 再生 を押す
現在の録音内容の頭出しをする	再生中に【*】（【◀◀】）を押してから、 再生 を押す
前の録音内容を再生する	再生中に【*】（【◀◀】）を2回押してから、 再生 を押す
早送りする	4倍速：▶▶を押す 60倍速：▶▶を2回押す 早送り中の録音内容を再生する： 再生 を押す
巻き戻しする	4倍速：◀◀を押す 60倍速：◀◀を2回押す 巻き戻し中の録音内容を再生する： 再生 を押す
一時停止する	【0】（【⏸】）を押す 再開するには 再生 を押す

消去する

1件消去する

- 再生** を押す
- 【^】または【v】を押して消去したい録音内容を選ぶ
- 消去** を押す
- ハイ** を押す
 - 消去後に「ショウキョシマシタ」が表示されます。
- 【メニュー】を押す

お知らせ

- 再生中に録音内容を消去することもできます。その場合、**消去** を押して、**ハイ** を押してください。

全件消去する

- 再生** を押す
- 消去** を押す
- ハイ** を押す
 - 消去後に「スベテ ショウキョシマシタ」が表示されます。

PHS電話機を使用して通話する

別売のPHS電話機を接続して、通話時に本機のマイクとスピーカーを使用することができます。

対応機種（2009年2月現在）

- パナソニック製構内交換機（IP-DigaportJⅡ／XⅡ）またはデジタルビジネスホン（ラ・ルリエ）用のデジタルコードレス電話機（VB-C911A）

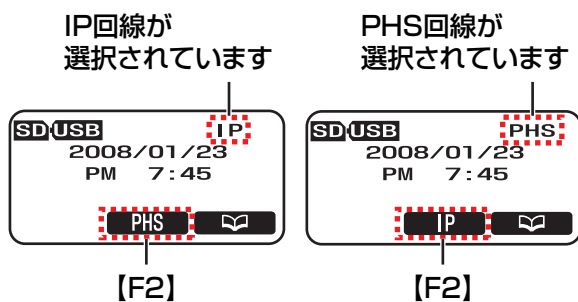
設定する

- 【メニュー】を押す
- 回線**を押す
 - 「**ドウサ モード**」が「**USB Audio**」に設定されている場合、**回線**は表示されず、設定はできません。
- 「**IP + PHS**」を選ぶ
 - 「**IP + PHS**」が選択されている場合、一般電話回線を使用して発着信することはできません。
- 決定**を押す
- 【メニュー】を押す

通話する

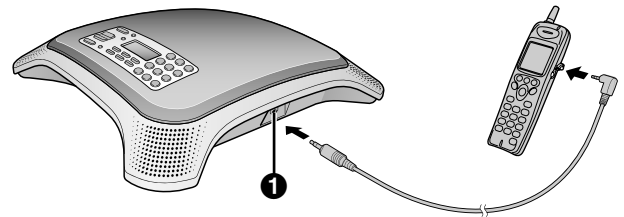
- 「**PHS**」がディスプレイの右上に表示されていることを確認する
 - 回線を変更する場合は、中央のソフトボタン【F2】を押してください。

例：



- 使用したい回線が表示されていない場合（ディスプレイ右上および中央下）、使用したい回線を設定してください。（上記参照）

- PHS電話機で相手に電話をかけて通話状態にする
- 本機とPHS電話機を接続ケーブルで接続する
 - 別売のデジタルコードレス電話機接続ケーブル（KX-TCA112JP）を使用して、PHS電話機を**AUDIO IN/OUT** ジャック（**①**）に接続してください。



お願い

- ケーブルは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、エコーやハウリングが発生したり、通話できない場合があります。
- PHS電話機は本機からできるだけ離れた位置に置いてください。

- 【**スピーカーホン**】を押して、マイクとスピーカーを使用する
 - もう一度【**スピーカーホン**】を押すと、マイクとスピーカーがOFFになります。
- 通話を終了する場合は、PHS電話機で通話を切断する
- 本機の【**スピーカーホン**】を押す

お願い

- PHS電話機を受話音量は、PHS電話機側で5段階の2にしてください。受話音量が大きいと、相手の声が聞きづらくなります。

お知らせ

- PHS電話機を本機に接続すると、PHS電話機のマイクとスピーカーは使用できなくなります。
- VB-C911A以外のPHS電話機や、携帯電話に接続して使用することはできません。
- 本機がIP回線に接続されていない場合は、中央のソフトボタンに回線の種類が表示されません。

パソコンを使用して通話する

市販のパソコンに接続して、IP電話ソフトやWeb会議サービスなどの通話時に、本機のマイクとスピーカーを使用することができます。

付属のUSBケーブルまたは別売のパソコン接続ケーブル（KX-TCA113JP）での接続が可能です。

USBケーブルで接続する

設定する

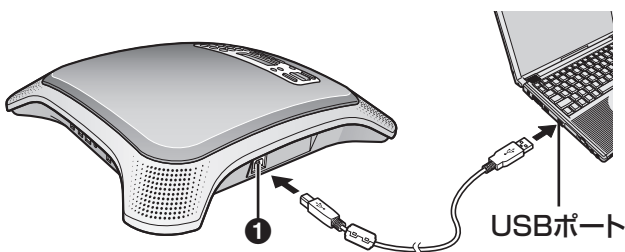
- 1 【メニュー】を押す
- 2 「ドウサ モード」を選び、**選択**を押す
- 3 「USB Audio」を選ぶ
- 4 **決定**を押す
- 5 設定を有効にするため、ACアダプターを抜き差しして再起動する
 - PoEで電源の供給を受けている場合は、LANケーブルを抜き差ししてください。

お知らせ

- 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されている場合、他の回線（IP、TEL、PHS、PC）で発着信できません。また、付属のIP会議ホンマネージャーは使用できません。

接続する

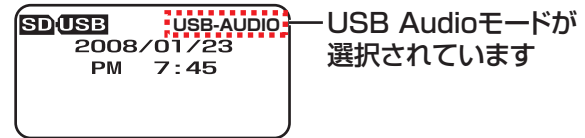
付属のUSBケーブルを本機のUSBポート（①）とパソコンのUSBポートに接続してください。



通話する

- 1 「USB-AUDIO」がディスプレイの右上に表示されていることを確認する

例：



- 「USB-AUDIO」が表示されていない場合、「ドウサ モード」を「USB Audio」に設定してください。（左記参照）
- 2 【スピーカーホン】を押して、マイクとスピーカーを使用する
 - もう一度【スピーカーホン】を押すと、マイクとスピーカーがOFFになります。
 - 3 パソコンで通話状態にする
 - 4 通話を終了する場合は、パソコンで通話を切断する
 - 5 本機の【スピーカーホン】を押す

お願い

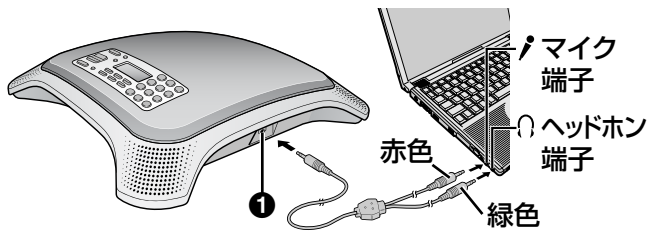
- 「USB Audio」モードで通話する場合は、パソコンの通信ソフトを以下のように設定してください。
 - AGC（マイク音量自動調整）機能：オフ
 - エコーキャンセル機能：オフ
 - 音量：中程度
- 「USB Audio」モードで通話する場合は、スピーカーの音量を本機で調整してください。（パソコンの通信ソフトの音量は中程度に設定してください。）
- 通話中にハウリング、エコーなど発生した場合は、パソコンまたはパソコン通信ソフトのスピーカー音量を下げてください。
- パソコンを接続する場合は、マイクを遮らないように、本機と50 cm程度離してパソコンを置いてください。

パソコン接続ケーブルで接続する 接続する

別売のパソコン接続ケーブル（KX-TCA113JP）を使用して、パソコンをAUDIO IN/OUT ジャック（①）に接続してください。

お願い

- パソコン接続ケーブルの赤色のプラグをパソコンのマイク端子に、緑のプラグをパソコンのヘッドホン端子に接続してください。



お知らせ

- パソコンを本機に接続すると、パソコンのマイクとスピーカーは使用できなくなります。

設定する

1 【メニュー】を押す

2 **回線** を押す

- 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されている場合、**回線** は表示されず、設定はできません。

3 「IP + PC」を選ぶ

- 「IP + PC」が選択されている場合、一般電話回線を使用して発着信することはできません。

4 **決定** を押す

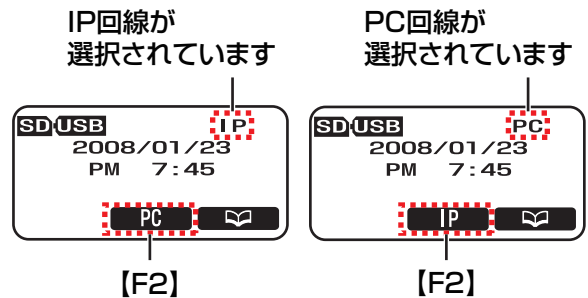
5 【メニュー】を押す

通話する

1 「PC」がディスプレイの右上に表示されていることを確認する

- 回線を変更する場合は、中央のソフトボタン【F2】を押してください。

例：



- 使用したい回線が表示されていない場合（ディスプレイ右上および中央下）、使用したい回線を設定してください。（左記参照）

2 【スピーカーホン】を押して、マイクとスピーカーを使用する

- もう一度【スピーカーホン】を押すと、マイクとスピーカーがOFFになります。

3 パソコンで通話状態にする

4 通話を終了する場合は、パソコンで通話を切断する

5 本機の【スピーカーホン】を押す

お願い

- パソコンを接続する場合は、マイクを遮らないように、本機と50 cm程度離してパソコンを置いてください。

お知らせ

- 本機がIP回線に接続されていない場合は、中央のソフトボタンに回線の種類が表示されません。

機能の設定／確認について

本機のコントロールパネルとパソコンで、機能の設定および設定の確認ができます。パソコンで設定する場合は、70 ページを参照してください。

設定変更のしかた

本機を使用する場合

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【^】または【v】を押して大項目を選び、**選択**を押す
- 3 【^】または【v】を押して設定項目を選び、**選択**を押す
- 4 項目に合わせて設定を変更する
 - 項目を設定せずに終了する場合は、【メニュー】を押してください。
- 5 **決定**を押す
- 6 【メニュー】を押して待機状態に戻る

お知らせ

- 選択されている設定にチェックマーク (✓) が付いています。
- 設定中に1つ前の項目に戻るには、【戻る】を押してください。
- 設定中に1分間操作を行わないと、自動的に待機状態に戻ります。
- 設定できない項目については表示されません。

IP会議ホンマネージャーを使用する場合

70 ページを参照してください。

再起動する

設定によっては、変更後の設定を有効にするため、本機を再起動する必要があります。再起動しても、登録されているデータは消去されません。

- 1 ACアダプターを抜き差しして再起動する
 - PoEで電源の供給を受けている場合は、LAN ケーブルを抜き差ししてください。

再起動が必要になる設定は、以下のとおりです。

- ドウサ モード (56 ページ参照)
- IPアドレス モード (60 ページ参照)
- IPアドレス (60 ページ参照)
- サブネットマスク (60 ページ参照)
- デフォルトゲートウェイ (61 ページ参照)
- SIPユーザID (61 ページ参照)
- SIPパスワード (61 ページ参照)
- SIPユーザドメインネーム (62 ページ参照)
- SIPプロキシサーバ IPアドレス (62 ページ参照)
- SIPプロキシサーバポートバンゴウ (62 ページ参照)
- SIPレジストラサーバ IPアドレス (62 ページ参照)
- SIPレジストラサーバポートバンゴウ (63 ページ参照)
- ホリユウ テジュン (保留手順) (63 ページ参照)
- SIPポートバンゴウ (SIPポート番号) (64 ページ参照)
- VLAN ID (65 ページ参照)
- VLAN Priority (65 ページ参照)
- SIP ToS Field (65 ページ参照)
- RTP ToS Field (66 ページ参照)

お知らせ

- 下記の方法でも、本機を再起動することができます。
 1. 【メニュー】を押す
 2. 「システム オプション」を選び、**選択**を押す
 3. 「サイキドウ」を選び、**選択**を押す
 4. 「ハイ」を選び、**選択**を押す
- IP会議ホンマネージャーを使用して再起動することもできます。(71 ページ参照)

設定できる機能

本機とIP会議ホンマネージャーで表記が異なる項目があります。下記の（ ）内の表記はパソコン上での表記です。

大項目	設定項目	参照先
└ IPアドレス カクニン		56 ページ
└ ドウサ モード (動作モード設定)		56 ページ
└ キホン セッテイ (基本設定)	└ ゲンゴ (言語)	56 ページ
	└ カレンダー	57 ページ
	└ ジコク ヒョウジ モード (時刻表示モード)	57 ページ
	└ チャクシン オンリョウ (着信音量)	57 ページ
	└ チャクシンオン (着信音)	57 ページ
	└ LCD コントラスト (LCD)	57 ページ
	└ キー カクニンオン (キー確認音)	57 ページ
	└ ワリコミ チャクシン オンリョウ (割込み着信音量)	58 ページ
	└ ワリコミ チャクシン (割込み着信)	58 ページ
└ カイセン センタク (回線選択)		58 ページ
└ デンワ セッテイ (電話設定)	└ カイセン シュベツ (回線種別)	58 ページ
	└ フラッシュ タイム	59 ページ
	└ ポーズ タイム	59 ページ
	└ ジュワ レベル ホセイ (受話レベル補正)	59 ページ
	└ ナンバーディスプレイ	59 ページ
└ IPネットワーク セッテイ (IPネットワーク設定)	└ IPアドレス モード	60 ページ
	└ IPアドレス	60 ページ
	└ サブネットマスク	60 ページ
	└ デフォルトゲートウェイ	61 ページ
↓		

大項目	設定項目	参照先
↑		
└ プロトコル セッテイ (プロトコル設定)	└ SIPユーザID	61 ページ
	└ SIPパスワード	61 ページ
	└ SIPユーザドメインネーム	62 ページ
	└ SIPプロキシサーバ IPアドレス	62 ページ
	└ SIPプロキシサーバポートバンゴウ	62 ページ
	└ SIPレジストラサーバ IPアドレス	62 ページ
	└ SIPレジストラサーバポートバンゴウ	63 ページ
	└ ホリユウ テジュン (保留手順)	63 ページ
└ VoIP セッテイ (VoIP設定)	└ ユウセン コーデック (優先コーデック)	64 ページ
	└ RTPパケットサイズ	64 ページ
	└ SIPポートバンゴウ (SIPポート番号)	64 ページ
	└ RTPポートバンゴウ (Min.) (RTPポート番号(Min.))	64 ページ
	└ RTPポートバンゴウ (Max.) (RTPポート番号(Max.))	65 ページ
└ QoS セッテイ (QoS設定)	└ VLAN ID	65 ページ
	└ VLAN Priority	65 ページ
	└ SIP ToS Field	65 ページ
	└ RTP ToS Field	66 ページ
└ システム ジョウタイ カクニン (システム状態確認)	└ ソフトウェア バージョン (NT700 ソフトウェアバージョン)	66 ページ
	└ IPアドレス	66 ページ
	└ サブネットマスク	66 ページ
	└ デフォルトゲートウェイ	66 ページ
	└ DHCPサーバ アドレス	66 ページ
	└ MACアドレス	66 ページ
↓		

大項目	設定項目	参照先
↑		
└ システム オプション (初期化)	└ ツウワリレキ クリア (通話履歴クリア)	66 ページ
	└ デンワチョウ クリア (電話帳クリア)	66 ページ
	└ システムデータ リセット	66 ページ
	└ ショキカ (オールデータ リセット)	67 ページ
	└ サイキドウ (再起動)	67 ページ

設定項目について

ここでは、本機およびパソコンで設定できる項目を記載します。
 選択されている設定にチェックマーク (✓) が付いています。下記の () 内の表記はパソコン上での表記です。

IPアドレス カクニン

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
本機で使用するIPアドレスを確認します。 IPアドレスを設定する場合は、29 ページを参照してください。	—	192.168.0.2

ドウサ モード (動作モード設定)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
「ドウサ モード」の設定によって、本機はピアツーピアのIP音声会議ホン、パソコンのUSBオーディオ機器、またはSIPサーバーのSIP端末として動作します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	<input type="checkbox"/> Peer to Peer <input type="checkbox"/> USB Audio <input type="checkbox"/> SIP Phone	Peer to Peer

キホン セッテイ (基本設定)

ゲンゴ (言語)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
ディスプレイに表示される言語を設定します。	<input type="checkbox"/> Japanese <input type="checkbox"/> English	Japanese

カレンダー

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>日付と時刻は、待機中にディスプレイに表示されます。また、SDメモリーカードを使用して会話を録音したときに記録され、再生するときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイヤルキーを使用して、年月日、時間（24時間制）、分をそれぞれ2ケタで入力してください。 例：「2008年1月23日午後7時45分」と入力するには、[0801231945] と押してください。 入力を間違えた場合は、[<] を押してカーソルを移動し、入力し直してください。 	年月日、時刻	2008/01/01 AM 12:00

ジコク ヒョウジ モード (時刻表示モード)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
時刻の表示方法を設定します。	<input type="checkbox"/> 12-hour <input type="checkbox"/> 24-hour	12-hour

チャクシン オンリョウ (着信音量)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
着信音量を設定します。	「オフ」を含めて4段階	最大

チャクシンオン (着信音)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
着信音の種類を設定します。	<input type="checkbox"/> パターン 1 <input type="checkbox"/> パターン 2 <input type="checkbox"/> パターン 3	パターン 1

LCD コントラスト (LCD)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
ディスプレイ表示のコントラスト（濃淡）を設定します。	6段階	レベル3

キー カクニンオン (キー確認音)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
ボタンを押したとき、確認音を鳴らすか設定します。	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	オン

ワリコミ チャクシン オンリョウ (割込み着信音量)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
通話中に着信したときの着信音量を設定します。	<input type="checkbox"/> ハイ (大) <input type="checkbox"/> ロー (小)	ハイ (大)

ワリコミ チャクシン (割込み着信)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
通話中に他の電話からの着信を許可するか禁止するかを設定します。	<input type="checkbox"/> キョカ (許可) <input type="checkbox"/> キンシ (禁止)	キョカ (許可)

カイセン センタク (回線選択)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用する回線の種類を設定します。設定された回線で発着信が可能です。	<input type="checkbox"/> IP + TEL <input type="checkbox"/> IP + PC <input type="checkbox"/> IP + PHS	IP + TEL

デンワ セツテイ (電話設定)

カイセン シュベツ (回線種別)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
一般電話回線を使用するときの回線種別を設定します。	<input type="checkbox"/> 10 PPS <input type="checkbox"/> 20 PPS <input type="checkbox"/> プッシュ	プッシュ

フラッシュ タイム

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>【キャッチ】を押したときの回線切断時間（フラッシュの時間）を設定します。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いの一般電話回線に合わせて設定してください。 	<input type="checkbox"/> 900 ms <input type="checkbox"/> 700 ms <input type="checkbox"/> 600 ms <input type="checkbox"/> 400 ms <input type="checkbox"/> 300 ms <input type="checkbox"/> 250 ms <input type="checkbox"/> 200 ms <input type="checkbox"/> 160 ms <input type="checkbox"/> 110 ms <input type="checkbox"/> 100 ms <input type="checkbox"/> 90 ms <input type="checkbox"/> 80 ms	700 ms

ポーズ タイム

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>【再ダイヤル／ポーズ】を押したときに挿入されるポーズ時間の長さを設定します。</p>	<input type="checkbox"/> 3 s <input type="checkbox"/> 5 s	3 s

ジュワ レベル ホセイ（受話レベル補正）

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>受話レベルを補正するか設定します。</p>	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	オフ

ナンバーディスプレイ

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>ナンバー・ディスプレイ契約回線に接続する場合、「ハイ」に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を「ハイ」にしている場合 電話がかかってくると「ベル カクニンチュウ」が約6秒間表示されます。その後、「TEL チャクシン」が表示され、着信音が鳴ります。 設定を「イイエ」にしている場合 着信音は鳴りますが、最初の6秒間は電話を受けることができません。電話を受けるには、約6秒経ってから【スピーカーホン】を押します。 	<input type="checkbox"/> ハイ <input type="checkbox"/> イイエ	イイエ

IPネットワーク セッテイ (IPネットワーク設定)

設定については、システム管理者にご相談ください。

IPアドレス モード

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>IP回線使用時にIPアドレスを手動で設定するか、DHCPサーバーから自動的に取得するかを設定します。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	<input type="checkbox"/> DHCP <input type="checkbox"/> コテイ (固定)	コテイ (固定)

IPアドレス

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>本機を接続するときに使用するIPアドレスを設定します。(29 ページ参照)</p> <p>「IPアドレス モード」が「コテイ」に設定されている場合のみ設定が必要です。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	192.168.0.2

サブネットマスク

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>本機を接続するときに使用するサブネットマスクを設定します。(29 ページ参照)</p> <p>「IPアドレス モード」が「コテイ」に設定されている場合のみ設定が必要です。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>本機を接続するときに使用するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。(29 ページ参照)</p> <p>「IPアドレス モード」が「コティ」に設定されている場合のみ設定が必要です。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	0.0.0.0

プロトコル セッテイ (プロトコル設定)

設定については、システム管理者にご相談ください。

SIPユーザID

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーで設定しているSIPのユーザID (内線番号) に合わせて設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> SIP端末のユーザ名など、数字以外の文字列を入力することはできません。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	最大32ケタ	—

SIPパスワード

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーで設定しているパスワードに合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	最大32文字	—

SIPユーザドメインネーム

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーのIPアドレスに合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	—

SIPプロキシサーバ IPアドレス

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーまたはSIPプロキシサーバーのIPアドレスに合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	0.0.0.0

SIPプロキシサーバポート番号

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーまたはSIPプロキシサーバーのSIPポート番号に合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	1024~50999	5060

SIPレジストラサーバ IPアドレス

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーまたはSIPレジストラサーバーのIPアドレスに合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	—	0.0.0.0

SIPレジストラサーバポートバンゴウ

設定	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>SIPサーバーまたはSIPレジストラサーバーのSIPポート番号に合わせて設定してください。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	1024~50999	5060

ホリユウ テジュン (保留手順)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
<p>保留手順の規格を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が保留状態にならない場合は、設定を変更してください。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	<input type="checkbox"/> RFC2543 <input type="checkbox"/> RFC3264	RFC3264

VoIP セッテイ (VoIP設定)

ユウセン コーデック (優先コーデック)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
IP回線での通話時に優先して使用するコーデックの規格を設定します。	<input type="checkbox"/> G.722 <input type="checkbox"/> G.711 μ -law <input type="checkbox"/> G.711A-law <input type="checkbox"/> G.729a	G.722

RTPパケットサイズ

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
通話時に送出するRTPパケットサイズを設定します。	<input type="checkbox"/> 20 ms <input type="checkbox"/> 30 ms <input type="checkbox"/> 40 ms <input type="checkbox"/> 50 ms <input type="checkbox"/> 60 ms	20 ms

SIPポートバンゴウ (SIPポート番号)

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するSIPポート番号を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	1024~50999	5060

RTPポートバンゴウ (Min.) (RTPポート番号(Min.))

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するRTPポート番号の最小値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定値は「RTPポートバンゴウ (Max.)」の設定より小さくしてください。 	51000~51998 (偶数のみ)	51000

RTPポートバンゴウ (Max.) (RTPポート番号(Max.))

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するRTPポート番号の最大値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定値は「RTPポートバンゴウ (Min.)」の設定より大きくしてください。 	51002~52000 (偶数のみ)	52000

QoS セッテイ (QoS設定)

VLAN ID

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するVLAN IDを設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	0001~4095	4095

VLAN Priority

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
VLANの優先度を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	0~7	0

SIP ToS Field

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するSIP ToSフィールドの値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	8ビット・ バイナリコード	00000000

RTP ToS Field

説明	設定できる内容	お買い上げ時の設定
使用するRTP ToSフィールドの値を設定します。 お願い <ul style="list-style-type: none"> 設定を有効にするには、本機を再起動してください。(52 ページ参照) 	8ビット・バイナリコード	00000000

システム ジョウタイ カクニン (システム状態確認)

説明
下記の項目を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア バージョン (NT700 ソフトウェアバージョン) IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DHCPサーバ アドレス MACアドレス

システム オプション (初期化)

ツウワリレキ クリア (通話履歴クリア)

説明
発信履歴をすべて消去します。

デンワチョウ クリア (電話帳クリア)

説明
電話帳に登録されている項目をすべて消去します。

システムデータ リセット

説明
システムデータ (本章に記載されている設定項目で設定された内容) をすべて初期化します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能を実行すると、本機は自動的に再起動します。 日付・時刻設定、電話帳に登録した項目および発信履歴は消去されません。

ショキカ（オールデータ リセット）

説明

システムデータおよびお客様が登録したデータをすべてお買い上げ時の状態に初期化します。

- この機能を実行すると、本機は自動的に再起動します。
- 日付・時刻設定、電話帳に登録した項目および発信履歴も消去されます。

サイキドウ（再起動）

説明

本機を再起動します。

- 再起動しても、本機に登録されているデータは消去されません。

データを消去する

下記の項目で、登録されているデータを消去できます。

ツウワリレキ クリア

発信履歴がすべて消去されます。

デンワチョウ クリア

電話帳に登録されている項目がすべて消去されます。

システムデータ リセット

システムデータはすべて初期化されます。下記のデータは初期化されません。

- 日付・時刻設定
- 電話帳に登録した項目
- 発信履歴

ショキカ

下記のデータがすべてお買い上げ時の状態に初期化されます。

- システムデータ
- 日付・時刻設定
- 電話帳に登録した項目
- 発信履歴

お知らせ

- 本機のデータを消去しても、SDメモリーカードに録音した内容は消去されません。カードに録音した内容をすべて消去する場合は、48 ページを参照してください。

発信履歴を消去する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「システム オプション」を選び、**選択**を押す
- 3 「ツウワリレキ クリア」を選び、**選択**を押す
- 4 「ハイ」を選び、**選択**を押す
- 5 【メニュー】を押す

電話帳の項目を全件消去する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「システム オプション」を選び、**選択**を押す
- 3 「デンワチョウ クリア」を選び、**選択**を押す
- 4 「ハイ」を選び、**選択**を押す
- 5 【メニュー】を押す

システムデータを初期化する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「システム オプション」を選び、**選択**を押す
- 3 「システムデータ リセット」を選び、**選択**を押す
- 4 「ハイ」を選び、**選択**を押す
 - 本機は、自動的に再起動します。

すべてのデータを初期化する

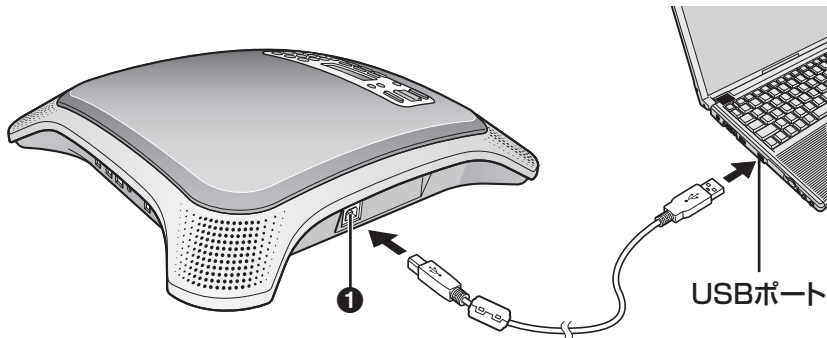
- 1 【メニュー】を押す
- 2 「システム オプション」を選び、**選択**を押す
- 3 「ショキカ」を選び、**選択**を押す
- 4 「ハイ」を選び、**選択**を押す
 - 本機は、自動的に再起動します。

IP会議ホンマネージャーを使う

付属のIP会議ホンマネージャーをインストールして（34 ページ参照）、パソコンで本機を操作することもできます。

接続する

付属のUSBケーブルを本機のUSBポート（❶）とパソコンのUSBポートに接続してください。



お願い

- 付属のUSBケーブル以外で、本機とパソコンを接続しないでください。

お知らせ

- 「ドゥサ モード」が「USB Audio」に設定されている場合、IP会議ホンマネージャーは使用できません。（27 ページ参照）

IP会議ホンマネージャーを起動する

以下の方法でIP会議ホンマネージャーを起動することができます。

– アイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックする



– スタートメニューから起動する

「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Panasonic」 → 「Conferencing Phone Manager」 → 「Conferencing Phone Manager」 をクリックする

IP会議ホンマネージャーを起動すると、下記の操作パネルが表示されます。



IP会議ホンマネージャーを使用して操作する

操作パネル上では、本機を直接操作する場合と同等の操作ができます。操作パネルを操作する場合、該当する部分をクリックします。

基本的な操作の機能は、下記を参照してください。

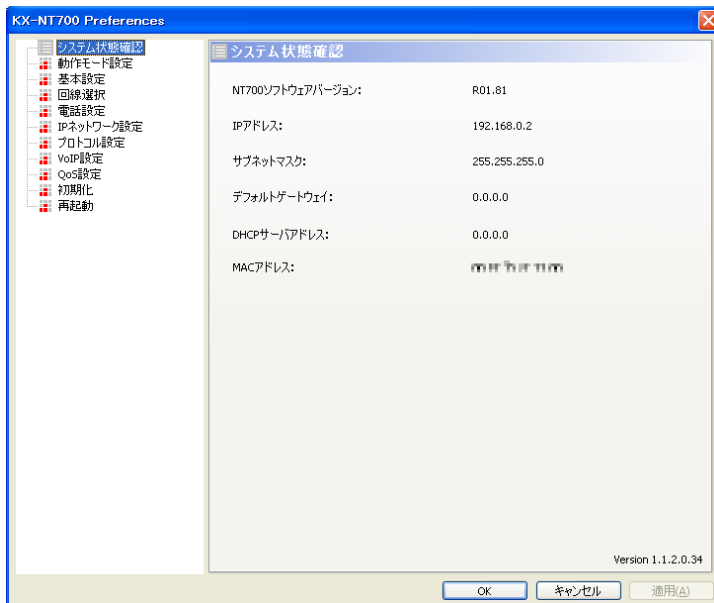
- 電話をかける（36 ページ参照）
- 電話を受ける（40 ページ参照）
- 電話帳に登録する（44 ページ参照）

その他の操作の詳細については、本書の該当箇所を参照してください。

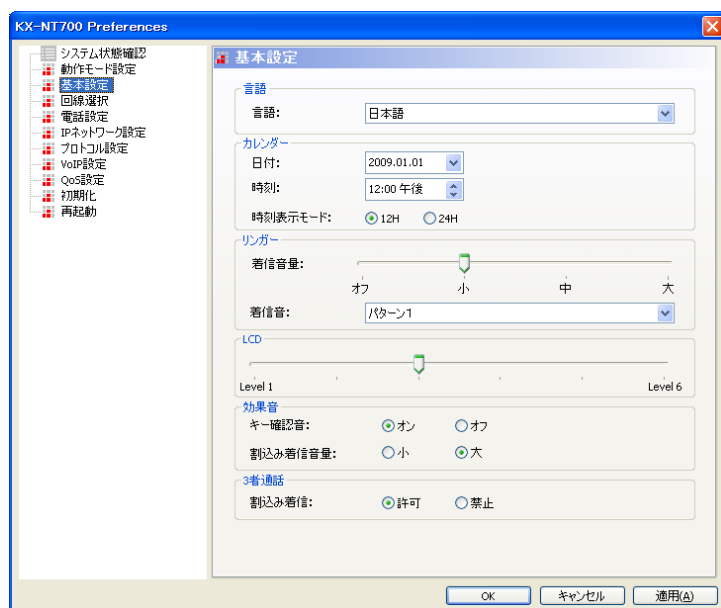
本機を設定する

1 操作パネル左上の  アイコンをクリックする

- 機能の設定画面が表示されます。



- 2 設定画面の左側に表示されている大項目をクリックする
 - 設定画面の右側に、設定項目が表示されます。




- 3 項目に合わせて設定を変更する
- 4 「OK」をクリックする
 - 操作パネルの画面に戻ります。
 - 設定内容を変更せずに終了する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

お知らせ

- 本機を再起動する必要がある機能の設定を変更した場合、本機を再起動するかどうか確認するメッセージが表示されます。変更を反映させるには、「はい」をクリックして本機を再起動してください。

本機を再起動する

- 1 操作パネル左上の  アイコンをクリックする
 - 機能の設定画面が表示されます。
- 2 「再起動」をクリックする
- 3 「OK」をクリックする
 - 操作パネルの画面に戻ります。

IP会議ホンマネージャーを終了する

- 1 操作パネル右上の  ボタンをクリックする

困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本機が正しく接続されているか(24 ページ参照)、ACアダプターを差し込んでいるコンセントから電源が供給されているか確認してください。スイッチングハブでPoE給電を使用している場合は、LANケーブルから電源が供給されているか確認してください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応	参照
ディスプレイに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が供給されていません。 → 本機は停電時は動作しません。ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターをコンセントと本機に差し込む必要があります。PoEを使用している場合、LANケーブルがPoE対応のスイッチングハブに接続されていないときは動作しません。 	24 ページ
正しく操作しても動かない ／動作がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本機と正しく接続されているか確認してください。 	24 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しています。 → ACアダプターを一度抜いた後、10秒待ってからもう一度ACアダプターを差し込んでください。PoE給電を使用している場合は、LANケーブルを一度抜いた後、10秒待ってからもう一度LANケーブルを差し込んでください。 	24 ページ

発着信について

こんなとき	原因と対応	参照
IP回線で発信できない	<ul style="list-style-type: none"> IP回線が選択されていません。 → ダイヤルする前に、「IP」がディスプレイ右上に表示されているか確認してください。表示されていない場合は、中央のソフトボタン（[F2]）を押してIP回線を選んでください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスが正しく入力されていません。 → 相手のIPアドレスを正しく入力したか確認してください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」が正しく設定されていません。 → 本機をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「Peer to Peer」に設定してください。発信するには相手のIPアドレスを入力する必要があります。 → 本機をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「SIP Phone」に設定してください。発信するには相手のSIPのユーザーID（電話番号）を入力する必要があります。 → 「USB Audio」モードに設定している場合は、発着信ができません。「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> システム管理者にご相談ください。 	—
一般電話回線で発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 一般電話回線（「TEL」）が選択されていません。 → ダイヤルする前に、「TEL」がディスプレイ右上に表示されているか確認してください。表示されていない場合は、中央のソフトボタン（[F2]）を押して「TEL」を選んでください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「カイセン センタク」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 → 「IP + TEL」に設定してください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されています。 → 「USB Audio」に設定されている場合、IP回線、一般電話回線、PHS回線、およびPC回線での通話ができません。「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 回線種別が正しく設定されていません。 → 「カイセン シュベツ」（「プッシュ」／「10 PPS」／「20 PPS」）が、お使いの回線に適した設定になっているか確認してください。 	58 ページ

こんなとき	原因と対応	参照
IP回線で着信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 「ドウサ モード」が正しく設定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> → 本機をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「Peer to Peer」に設定してください。着信するには、相手がIPアドレスを入力して発信する必要があります。 → 本機をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「SIP Phone」に設定してください。着信するには、相手がSIPのユーザーID（電話番号）を入力して発信する必要があります。 → 「USB Audio」モードに設定している場合は、発着信ができません。「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ
一般電話回線で着信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 「カイセン センタク」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> → 「IP + TEL」に設定してください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> • 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> → 「USB Audio」に設定されている場合、IP回線、一般電話回線、PHS回線、およびPC回線での通話ができせん。「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ

こんなとき	原因と対応	参照
PHS電話機やパソコンを使用した通話で本機が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> PHS電話機やパソコンが本機に正しく接続されていません。 → 使用可能なオーディオケーブルを使用しているか、そのケーブルがPHS電話機やパソコンに正しく接続されているか確認してください。 	49 ページ 50 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」が「USB Audio」に設定されています。 → 「USB Audio」に設定されている場合、IP回線、一般電話回線、PHS回線、およびPC回線での通話できません。「Peer to Peer」または「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> PHS回線（「PHS」）やPC回線（「PC」）が選択されていません。 → 使用したい回線（「PHS」または「PC」）がディスプレイの右上に表示されているか確認してください。表示されていない場合は、中央のソフトボタン（[F2]）を押して使用したい回線を選んでください。 → 「カイセン センタク」が使用する機器に合わせて「IP + PHS」か「IP + PC」に設定されているか確認してください。 	49 ページ 50 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> PHS電話機やパソコンが通話状態になっていません。 → オーディオケーブルからPHS電話機やパソコンをはずして、PHS電話機やパソコンで電話がかけられるか確認してください。電話をかけられない場合は、PHS電話機もしくは通話に使用しているソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。 	—

こんなとき	原因と対応	参照
<p>【再ダイヤル／ポーズ】を押して再ダイヤルすることができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再ダイヤルしようとしている番号が制限を超えています。 → ダイヤルした番号のケタ数が以下の制限をこえた場合、正しく再ダイヤルできません。 <ul style="list-style-type: none"> 一般電話回線：128ケタ IP回線（「SIP Phone」モード）：32ケタ 	37 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルを始めた後に【再ダイヤル／ポーズ】を押しています。 → ダイヤルを始めた後に【再ダイヤル／ポーズ】ボタンを押した場合、ポーズボタンとして動作します。最後にかけた10件のなかから再ダイヤルするには、【再ダイヤル／ポーズ】を押した後【へ】か【v】を押して発信したい相手を選び、【スピーカーホン】を押してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 「カイセン センタク」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 → 「IP + TEL」に設定してください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」設定が前回の通話時と異なります。（例：「Peer to Peer」モードでかけた相手を、「SIP Phone」モードで再ダイヤルしようとしています。） → 「ドウサ モード」設定を変更してください。 	27 ページ
<p>長距離通話ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機が構内交換機に接続されている場合、構内交換機側の設定により長距離通話ができないことがあります。 → 構内交換機の管理者にご相談ください。 	—
<p>電話をかけると、相手の電話機に「非通知」と表示され、電話番号が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ADSL回線で接続している場合、本機と電話コンセントの間に接続している機器が影響を及ぼすことがあります。 → 本機を電話コンセントに直接つないで、問題がないか確認してください。問題がない場合は、ADSLの事業者にご相談ください。 	26 ページ
<p>着信音が鳴らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 着信音量の設定が「オフ」になっています。 → 着信中に【へ】を押すか、着信音量の設定を変更してください。 	57 ページ

音質について



こんなとき	原因と対応	参照
相手に自分の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ミュート中になっています。 → 「ミュート」が表示される場合は、【ミュート】を押してミュート機能をOFFにしてください。 	42 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> マイクが遮られています。 → 通話中は、物や手でマイクを遮らないでください。 	—
音が途切れる／エコー（自分の声がスピーカーから聞こえる現象）が発生する	<ul style="list-style-type: none"> 通話開始直後は、本機が通話環境に適応していない場合があります。 → 通話開始直後は、相手と交互にお話してください。本機が通話環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくなるように自動的に調整します。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> PHS電話機を使用している場合、PHS電話機で通話状態になる前に【スピーカーホン】を押しています。 → PHS電話機で通話状態にし、本機とPHS電話機を接続してから【スピーカーホン】を押してください。 	49 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> マイクから離れすぎています。 → マイクの近くで話をしてください。 	33 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 通話環境がスピーカーホンでの通話に適していない状態になっています。 → プロジェクター、エアコン、扇風機など音を発生させる機器から本機を約2 m以上離して使用してください。 → 窓のある部屋で使用する場合は、エコーが発生しないようにカーテンやブラインドを閉めてください。 → 静かな環境で本機を使用してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 通話中に本機や外部マイクを動かしています。 → 通話中は、本機や外部マイクを動かさないでください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> マイクが遮られています。 → 通話中は、物や手でマイクを遮らないでください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 相手が半二重仕様のスピーカーホンを使用しています。 → 相手が半二重のスピーカーホンを使用している場合、通話中に音が途切れることがあります。本機を最大限に活用するには、相手は全二重のスピーカーホンを使用する必要があります。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> PHS電話機を使用している場合、本機とPHS電話機がデジタルコードレス電話機接続ケーブルで正しく接続されていません。 → ケーブルが根元まで確実に差し込まれているか確認してください。 	49 ページ

こんなとき	原因と対応	参照
相手の声が小さい／雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ADSL回線で接続している場合、本機と電話コンセントの間に接続している機器が相手の音質に影響を及ぼすことがあります。 → 本機を電話コンセントに直接つないで、問題がないか確認してください。問題がない場合は、ADSLの事業者にご相談ください。 	26 ページ

SDメモリーカードについて

こんなとき	原因と対応	参照
SDメモリーカードに録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できないSDメモリーカードを使用しています。 → カードが使用可能か確認してください。 → 本機では、SDHC メモリーカード、miniSDHC メモリーカード、microSDHC メモリーカードは使用できません。 	31 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードがFAT形式でフォーマットされていません。 → パソコンでフォーマットしてください。 	32 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードが、しっかり挿入されていません。 → カードが、本体挿入口の奥までしっかり挿入されているか確認してください。 	31 ページ

電話帳について

こんなとき	原因と対応	参照
 が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> PHS回線またはPC回線が選択されている場合、は表示されません。 → 一般電話回線またはIP回線に変更してください。 	36 ページ

こんなとき	原因と対応	参照
電話帳を登録することができない	<ul style="list-style-type: none"> 通話中もしくは録音した内容の再生中です。 → 通話中や録音した内容の再生中は電話帳を登録することはできません。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」が正しく設定されていません。 → 本機をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「ドウサ モード」を「Peer to Peer」に設定し、IPアドレスを登録してください。 → 本機をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「ドウサ モード」を「SIP Phone」に設定し、SIPのユーザーID（電話番号）を登録してください。 	27 ページ 44 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 着信中です。 → 着信すると、本機は自動的に電話帳を終了します。通話を終えてから、もう一度電話帳を登録してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 電話帳に100件登録されています。 → 不要な項目を削除してください。 	45 ページ
電話帳を修正することができない	<ul style="list-style-type: none"> 通話中もしくは録音した内容の再生中です。 → 通話中や録音した内容の再生中は電話帳を修正することはできません。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 着信中です。 → 着信すると、本機は自動的に電話帳を終了します。通話を終えてから、もう一度電話帳を修正してください。 	—
電話帳から電話をかけることができない	<ul style="list-style-type: none"> 「カイセン センタク」が「IP + PC」もしくは「IP + PHS」に設定されています。 → 「IP + TEL」に設定してください。 	36 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 「ドウサ モード」が正しく設定されていません。 → 本機をピアツーピアのIP音声会議ホンとして使用する場合は、「Peer to Peer」に設定してください。 → 本機をSIPサーバーのSIP端末として使用する場合は、「SIP Phone」に設定してください。 	27 ページ
電話帳を登録または修正中に本機が待機状態に戻る	<ul style="list-style-type: none"> 最後の操作から1分経過しています。 → 電話帳を登録または修正中に1分間操作を行わないと、本機は自動的に待機状態に戻ります。 	—

機能の設定について

こんなとき	原因と対応	参照
設定中に本機が待機状態に戻る	<ul style="list-style-type: none"> 最後の操作から1分経過しています。 → 設定中に1分間操作を行わないと、本機は自動的に待機状態に戻ります。 	—
本機の設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> 通話中です。 → 通話を終わってから、本機を設定してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 着信中です。 → 着信すると、本機は自動的に設定を終了します。通話を終わってから、もう一度本機を設定してください。 	—
変更した設定が反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> 設定項目の中には、設定を変更した後、再起動が必要なものがあります。 → 本機を再起動してください。 	52 ページ

ディスプレイのメッセージについて

メッセージ	原因と対応	参照
ハナシチュウデス (IP回線での発信時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 電話をかけた相手は話し中です。 → 後でおかけ直してください。 	—
チャクシン キョヒ (IP回線での発信時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 電話をかけた相手はお客様からの発信を拒否しています。 → 後でおかけ直してください。 	—
ミツカリマセン (IP回線での発信時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 電話をかけた相手につながりません。 → 相手のIPアドレスを正しく入力しているか確認してください。 → 後でおかけ直してください。 	—
デンワチョウ トウロク サレテイマセン	<ul style="list-style-type: none"> 電話帳に項目が登録されていません。 → 電話帳を使用するには、項目を登録する必要があります。 	44 ページ
デンワチョウ データ エラー	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しています。 → 【戻る】 を押して待機状態に戻ってから「デンワチョウ クリア」機能を使用して電話帳に登録されている項目をすべて消去してください。 	68 ページ
ハッシンリレキ データ エラー	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しています。 → 【戻る】 を押して待機状態に戻ってから「ツウワリレキ クリア」機能を使用して発信履歴をすべて消去してください。 	68 ページ
オマチクダサイ	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードが挿入されたときに表示されます。 → 本機がカードを確認しています。しばらくお待ちください。 	—

メッセージ	原因と対応	参照
フォーマット エラー	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードのフォーマット中にエラーが発生しています。 → カードを取り出し、別のカードを使用してください。 	—
シヨウデキマセン	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できないSDメモリーカード（SDHCなど）が挿入されたときに表示されます。 → 本機に対応しているカードを使用してください。 	31 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> FAT形式以外でフォーマットされたSDメモリーカードが挿入されています。 → FAT形式でフォーマットされたカードを使用してください。 	32 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードに録音された内容が1秒以下です。 → 1秒以下の内容は録音できますが、再生することはできません。2秒以上録音してください。 	47 ページ
メモリー イッパイ	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードの空き容量がなくなったので録音できません。 → 不要な録音内容を消去してください。 	48 ページ
カキコミホゴ サレテイマス	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にスライドされています。 → カードを取り出し、書き込み禁止スイッチをスライドさせてロック状態を解除してから、もう一度カードを挿入してください。 	31 ページ
システム データ エラー データ ショウキョ?	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しています。 → ハイ を押すと、システムデータが消去され、本機が再起動します。イイエ を押すと、システムデータを消去せずに本機が再起動します。 	—
IPカイセン セツゾク デキマセン	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが正しく接続されていません。 → 本機が正しく接続されているか確認してください。 	24 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> IPネットワーク設定の情報がサーバーから正しく取得できていません。 → システム管理者にご相談ください。 	—
SIPサーバ セツゾク デキマセン	<ul style="list-style-type: none"> IPネットワーク設定またはSIP設定が正しく設定されていません。 → システム管理者にご相談ください。 	—
アナログ カイセン セツゾク デキマセン	<ul style="list-style-type: none"> 一般電話回線からの着信拒否後、すぐに一般電話回線で発信しようとしたときに表示されます。 → しばらく待って、TEL 表示がされてから、おかけ直してください。 	—

お手入れ

お手入れをするときは、ACアダプターやケーブルを抜き、電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままお手入れをすると、誤動作の原因になります。



- 機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどい場合、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お手入れには下記のものはいずれも使わないでください。変色、変質の原因になります。
 - 石油
 - みがき粉
 - アルコール
 - シンナー
 - ベンジン
 - ワックス
 - 熱湯
 - 粉せっけん
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

仕様

項目	仕様
通話回線	IP (VoIPによる通話) TEL (一般電話回線による通話) PHS (音声入出力端子による通話) PC (音声入出力端子による通話またはUSBによる通話)
最大通話拠点数	3 (可能な通話の組み合わせは以下のとおり) - IP回線 (2通話; [Peer to Peer] モード時のみ) - IP回線 (1通話) + 一般電話回線 (1通話) - IP回線 (1通話) + PHS回線 (1通話) - IP回線 (1通話) + PC回線 (1通話)
VoIP接続方式	SIP
VoIP音声コーデック	G.722、G.711 (μ -law/A-law)、G.729a
イーサネット規格	IEEE802.3/IEEE802.3u (10 BASE-T/100 BASE-TX)
イーサネット極性	ストレート/クロス自動判別 (Auto MDI/MDX)
IPアドレス取得モード	自動取得 (DHCP)、固定設定
ダイヤル種別	PB/DP (10 pps、20 pps)
直流抵抗	314 Ω (直流抵抗値が300 Ω を超えておりますので、電話をかけられない場合は、販売店へご相談ください。)
スピーカー	1個 (音量: 85 dB、周波数帯域: 300 Hz-7000 Hz)
内蔵マイク	4か所: 合計8個 (集音範囲: 半径約3 m)
LANジャック(LAN)	1 (RJ45)
一般電話回線のモジュラージャック (LINE)	1 (RJ11)
USBポート	1 (USB 2.0、Full speed)
SDメモリーカードスロット	1 (最大2 GBまで対応)
音声入出力端子(AUDIO IN/OUT)	1 (ϕ 3.5 mm モノラルミニジャック)
外部マイク端子(EXT MIC1、EXT MIC2)	2 (モジュラージャック)
寸法	本体寸法: 約55 mm (H) \times 275 mm (W) \times 275 mm (D)
質量	本体質量: 約1300 g
ACアダプター	入力: AC 100 V (50 Hz/60 Hz) 出力: DC 9 V 750 mA
PoE	IEEE802.3af準拠
消費電力	待機時: 約4.8 W 通話時: 約6.5 W

仕様

項目	仕様
使用条件	温度：0℃-40℃ 湿度：90%以下（ただし、結露なきこと）
	推奨使用環境：環境騒音50 dBA以下

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へ
お申し付けください。

移転の際のご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へ
お申し付けください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間：	お買い上げ日から 本体 1年間
-------	--------------------

お買い上げ日から1年間を保証期間とさせていただきます。ただし、本機に内蔵のリチウム電池は消耗品ですので、保証の対象外とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このIP音声会議ホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

「困ったとき」(72 ページ参照)の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、無償修理をさせていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店へご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

• 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

下記修理料金の仕組みをご理解のうえご相談ください。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	IP音声会議ホン
品番	KX-NT700N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をさせていただきます。ただし、落雷や停電などの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、本装置が使えなかったことによる付随的被害(料金管理など)の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告無しに変更することがあります。

索引

英数字

3者通話 39, 41
 ACアダプター 15, 24
 ADSLに接続する 26
 IPアドレス 60
 IPアドレス カクニン 56
 IPアドレス モード 60
 IP会議ホンマネージャー
 アンインストール 35
 インストール 34
 起動する 69
 機能設定 70
 再起動 71
 パソコンを接続する 69
 本機を操作する 70
 IPネットワーク設定 29
 ISDNに接続する 26
 LANケーブル 24
 LANジャック (LAN) 17
 LCD コントラスト (LCD) 57
 Peer to Peer 27
 PHS電話機を接続する 49
 RTP ToS Field 66
 RTPパケットサイズ 64
 RTPポートバンゴウ (Max.) (RTPポート番号 (Max.)) 65
 RTPポートバンゴウ (Min.) (RTPポート番号 (Min.)) 64
 SDアイコン 21
 SDメモリーカード 31
 SIP Phone 27
 SIP ToS Field 65
 SIPパスワード 61
 SIPプロキシサーバ IPアドレス 62
 SIPプロキシサーバポートバンゴウ 62
 SIPポートバンゴウ (SIPポート番号) 64
 SIPユーザID 61
 SIPユーザドメインネーム 62
 SIPレジストラサーバ IPアドレス 62
 SIPレジストラサーバポートバンゴウ 63
 SIP設定 30
 USB Audio 27
 USBアイコン 21
 USBドライバー 35
 USBポート 17

VLAN ID 65
 VLAN Priority 65

あ行

アフターサービス 85
 安全上のご注意 10
 一般電話回線のモジュージャック (LINE) 17
 インジケーター 17, 18
 お手入れ 82
 音声入出力端子 (AUDIO IN/OUT) 17
 音量を調整する 37, 40

か行

カイセン センタク (回線選択) 36, 58
 カイセン シュベツ (回線種別) 58
 外部マイク 16, 33
 外部マイク接続端子 (EXT MIC1、EXT MIC2) 17
 会話速度 42
 各部のなまえとはたらき 17
 カレンダー 57
 キー カクニンオン (キー確認音) 57
 機能一覧 53
 機能設定 52, 70
 キャッチボタン 19, 42
 キャッチホン 42
 クリアー/ミュートボタン 19
 決定ボタン 20
 ゲンゴ (言語) 56
 困ったとき 72
 コントロールパネル 19

さ行

再起動 52, 71
 サイキドウ (再起動) 67
 再生 47
 再ダイヤル 37
 再ダイヤル/ポーズボタン 19
 サブネットマスク 60
 ジコク ヒョウジ モード (時刻表示モード) 57
 システム ジョウタイ カクニン (システム状態確認) 66
 システムデータ リセット 66
 集音範囲 33
 ジュワ レベル ホセイ (受話レベル補正) 59
 仕様 83
 情報の保護 14
 初期化 68

ショキカ (オールデータ リセット) 67
スピーカー 17
スピーカー音量 37, 40
スピーカーホンボタン 19
セキュリティ 14
接続 24
設定を変更する 52
ソフトボタン (【F1】、【F2】、【F3】) 19, 22

た行

ダイヤルポーズ 38
チャクシンオン (着信音) 57
着信音量 40
チャクシン オンリョウ (着信音量) 57
ツウワリレキ クリア (通話履歴クリア) 66
ディスプレイ 19, 21
ディスプレイのメッセージ 80
データを消去する 68
デフォルトゲートウェイ 61
電話機コード 24
電話帳 38, 44
デンワチョウ クリア (電話帳クリア) 66
電話を受ける 40
電話をかける 36
ドウサ モード (動作モード設定) 27, 56

な行

内蔵マイク 17, 33
ナビゲータ/音量ボタン 19
ナンバー・ディスプレイ 28, 59
ノイズを減少させる 43

は行

パソコンを使用して通話する 50
発信回線表示 (IP、TEL、PHS、PC、
USB-AUDIO) 21
ピアツーピア 27
日付・時刻設定 27
フォーマット 32
付属品 15
フラッシュ タイム 59
別売品 16
ポーズ タイム 59
保証 85
ホリユウ テジュン (保留手順) 63

ま行

マイク 33

マイクノイズカットボタン 19, 43
ミュート 42
メニューボタン 20
メモ録音 47
戻るボタン 19

や行

ユウセン コーデック (優先コーデック) 64

ら行

録音 47
録音時間 31

わ行

ワリコミ チャクシン オンリョウ (割込み着信音
量) 58
ワリコミ チャクシン (割込み着信) 58
割込み着信 41

- 本製品の使用は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
- This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

便利メモ (おぼえのため記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	KX-NT700N
販 売 店 名		電 話 ()	—
お 近 く の 販 売 会 社		電 話 ()	—

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず**お買い上げの販売店**へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 03-3491-9191

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

PSQF1074VA KK0408004030